

西脇市比延地区  
まちづくり計画の提案書  
平成16年度版

平成17年3月

**比延地区まちづくり計画検討委員会**

比延町・上比延町・中畑町・住吉町  
鹿野町・塚口町・高嶋町・堀町

平成17年 3月30日

西脇市長 内 橋 直 昭 様

比延地区まちづくり計画検討委員会  
委員長 小 谷 啓 二

毎日、なにげなく過ごしていますが、私たちの地区は住み良いところでしょうか。住みにくいとすればどんなところでしょうか。どこをどのように改善すれば良いのでしょうか。

私たちは、次の世代に何を残し、何をどのように伝えたら良いのでしょうか。我々の先輩から何を学べば良いのでしょうか。

比延地区まちづくり検討委員会では、このような問題をひとつでも解決したいという願いを持って平成14年11月に発足し、2年間をかけて計画づくりを進めてまいりました。

毎月1回の会議、全世帯まちづくりアンケート調査やタウンウォッチングの実施。兵庫大学の根本敏行教授（現静岡文化芸術大学教授）をアドバイザーに、引き続いて、樋口都市設計の樋口信子代表をコンサルタントにお迎えし、御助言・御指導をいただきながら、この度、ひとつのまちづくり計画としてまとめました。

この計画書は完成品ではありません。これが、今後の比延地区のあり方を皆さんに考えていただくきっかけとなり、ここからまちづくりの第1歩が踏み出せればと考えています。そして、皆さんと一緒に計画書を膨らませていければ…と思っています。

まちづくり…1人で考えれば判らないことばかりです。そこに住むみんなで考え、みんなで育んでいきたいと思えます。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

記

1	地区の特徴と課題	2
2	まちづくりの基本目標	4
3	まちづくり計画	
3-1	まちの将来像（土地利用構想）	5
3-2	部門別計画	7
	(1) 支えあうふれあいのまちづくり	7
	(2) ころ豊かな生活・文化のまちづくり	8
	(3) 暮らしと産業の調和するまちづくり	9
	(4) 自然にやさしい安全・快適なまちづくり	10
	(5) 公民協働のまちづくり	12
4	アクションプラン	13

〈参考資料〉

①	比延地区まちづくり計画検討委員会の活動記録	1
②	アンケート調査結果の概要	7
③	委員会で検討したプロジェクト	16
④	比延地区まちづくり計画検討委員会規約	23

# 1 地区の特徴と課題

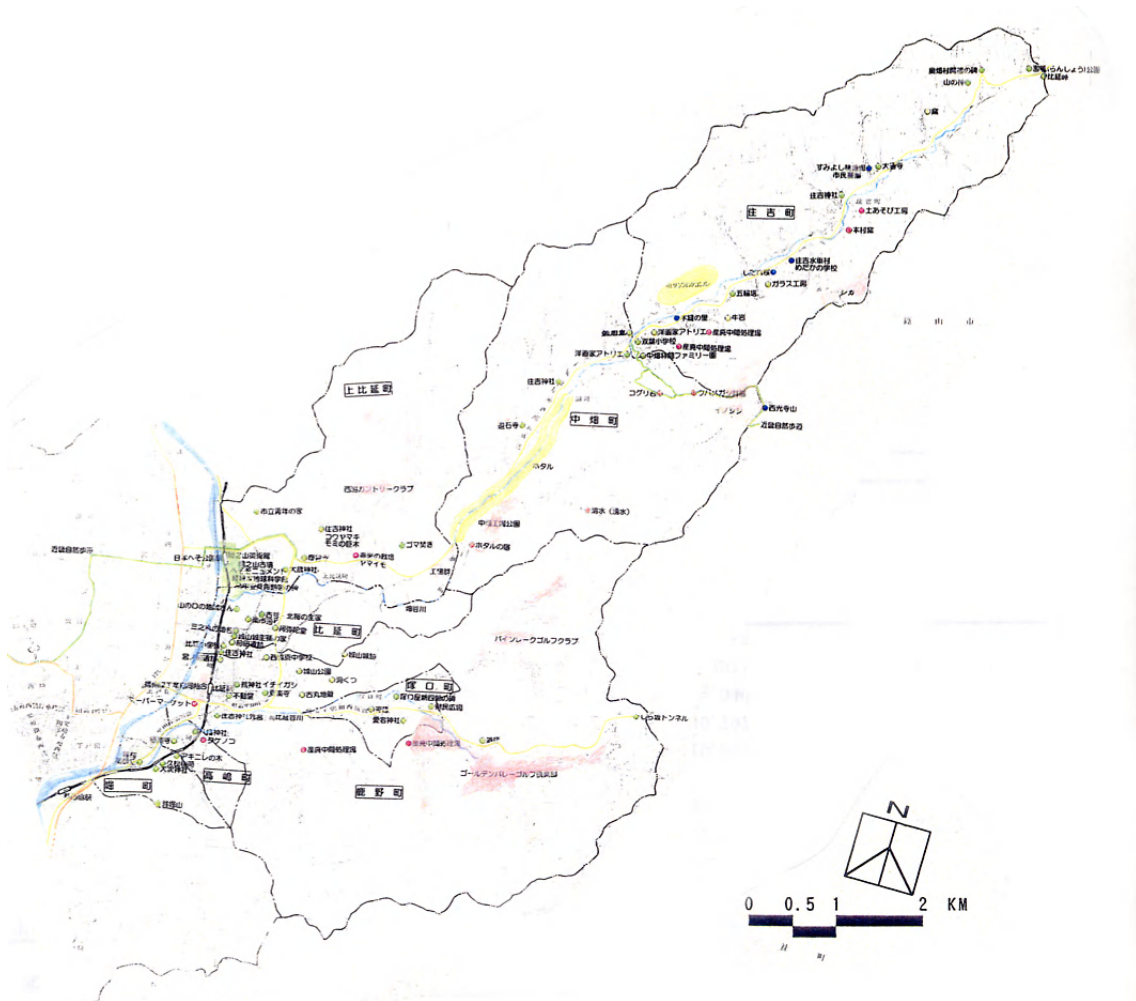
## (1) 立地特性

比延地区は西脇市東部にあって、面積は約44km<sup>2</sup>で市域面積の約45%を占めており、その大半は山地、農地である。人口は約5千人であり、西脇市全体（約3万8千人）の約13%を占める。

地区の西端を兵庫県下最大の延長をもつ一級河川加古川が南流し、これに沿ってJR加古川線が通っている。地区内には日本へそ公園駅と比延駅の2つの駅があるが、同線の運行本数は1日10本と少なく、また広域的な中心都市である加古川市中心部まで1時間もかかるため、利用者も1日20人程度で、鉄道の利便性は低い。

これに対し、鉄道と平行して通る国道175号は、市域の南約2.5kmの地点で中国自動車道滝野・社インターチェンジに接続しており、広域的な自動車交通の利便性は高い。

### ■地区概況図



## (2) 地区の課題の整理

地区の現状やアンケート調査、委員会での会議をふまえた、地区の課題を以下に示す。

### ○ 進む少子高齢化と町ごとの格差

比延地区は旧比延庄村の歴史をふまえ、8つの町で構成されているが、市街地に近い堀町を除き、人口が減少若しくは横ばい状態である。

また、高齢者比率も格差が大きく、最も市街地から遠い住吉町では29%と非常に高く、市街地に近い堀町では15%と市平均と比べて約6%も低い状況にある。堀町には雇用促進住宅や公務員宿舎があり若い世帯が多いため、このような格差が生じているものと考えられる。

高齢者の生きがい・自立施策や子どもを育てやすい環境づくり、若い人が定住できる環境づくり等が必要である。

### ○ 強固ではあるが、独自性・魅力づくりも必要な地域のコミュニティ

各町に公民館や神社・お寺があり、祭りも行われて、様々な場面で住民同士が助け合って生活している。しかし、一方では日本の農村集落のありがちな目新しいことや目立つことがしにくいといった雰囲気もあり、新しい住民が地域の行事等に参加しにくい、協調性に欠ける、等の指摘もある。

地域の独自性や伝統を大切にしつつも斬新で魅力のある行事等の開拓も必要である。

### ○ 充実している地域レベルの文化施設、乏しい身近な文化施設・歴史や文化への関心

経緯度地球科学館（テラ・ドーム）や岡之山美術館等は比延地区の誇りとして認識されているが、地区固有の神社等は十分な管理ができていないため、老朽化し歴史的な街並みや催しも減少しつつある。地域の歴史や文化に関心を持ち大切に継承していく必要がある。

小中学校の児童・生徒数は年々減少しており、空き教室が増えている。子どもの教育や教養レベルの向上に役立つ学校のあり方を検討する必要がある。

### ○ 十分な美しさにはもう一步の公園・公共空間

河川や公園・広場については地区住民も参加して適宜清掃を行っているが、十分とは言えず、ゴミや手入れ不足の植木が美観を損ねていることもある。地区住民自らがボランティア精神をもって更に清掃・美化活動を行って行く必要がある。

### ○ みんなが誇る豊かな自然

川にはホタル、周辺の森にはモリアオガエル、山岳地帯にはシカやイノシシも生息し豊かな自然環境を有している。多少の環境の変化も見られるが、次世代にこの豊かな自然を引き継いでいけるよう、自然環境の保全に努めることが必要である。

### ○ 生かされてない自然や地域の個性

産業や自然の恵み、伝統産業としての播州織、芸術等に秀でた居住者の存在などがあるものの、産業や地域の魅力づくりに十分活かされていない。産業の活性化や都市住民の集客などの面で工夫が必要である。

また、物理的にも地域の河川空間やコミュニティ施設等を結ぶ快適な散策路や登山道等の整備が求められる。

## ○ 充実が望まれる便利な公共交通や安全な道路、親しみやすい河川

公共交通が不便なことから、車を持たない人や運転できない人に対して補助するシステムが必要である。

また、県道等の幹線道路については、自転車歩行者道の要望も高く、人・自転車・車が安全に通行できるよう整備を進める必要がある。

河川空間については、それぞれの管理者と住民が協議し、堤防等の安全性を確保しつつ、水に親しめる空間を創っていく必要がある。

## ○ 公民協働のまちづくりへの理解と意識醸成

行政と役割分担を図りつつ、自分たちのまちを自分たちで考え、できることは自分たちです、という参画と協働のまちづくりに対する基本認識への理解を深め、その手法等について学習していく必要がある。

## 2 まちづくりの基本目標

地区の特徴である豊かな自然、織物の歴史、子午線・経緯の存在及びやすらぎを感じる人々のふれあいを活かし、少子高齢化や環境汚染、産業衰退等の課題を克服すべくまちづくりの目標を以下のように設定した。

子午線と自然が織りなす  
ふるさと★比也野

- 豊かな自然を守り、活かします
- 人と人のふれあいを大切にします
- 日本の中心（へそ）であることを常に意識し、創意工夫  
で地区独自のブランドづくりに励みます
- 心安らぐ「ふるさと」としてのまちづくりを目指します

### 3-1 まちの将来像（土地利用構想）

地区の土地利用現況や上位計画・関連計画及び自然や歴史、産業に関する様々な資源を活かしつつ、まちの将来像を下記のように設定する。

#### (1) まちの骨格（道路・鉄道）

- 幹線道路である県道西脇篠山線・上鴨川西脇線及び黒田庄滝野線を人も車も安全に通行できる道路として整備していく。特に小中学校の通学路となる区間では歩道の整備を推進する。
- 日本へそ公園・城山公園、濫觴（らんしょう）公園及びしら坂トンネル入り口の広場などを畑谷川や比延谷川の河川敷や堤防、尾根筋及び近畿自然歩道を活用してネットワークし、地区住民や市民等が水と緑に親しめる「歩く道」を整備する。
- JR加古川線は市民の交通手段として機能するよう、運行本数の見直しやイベント列車運行などを働きかけていく。

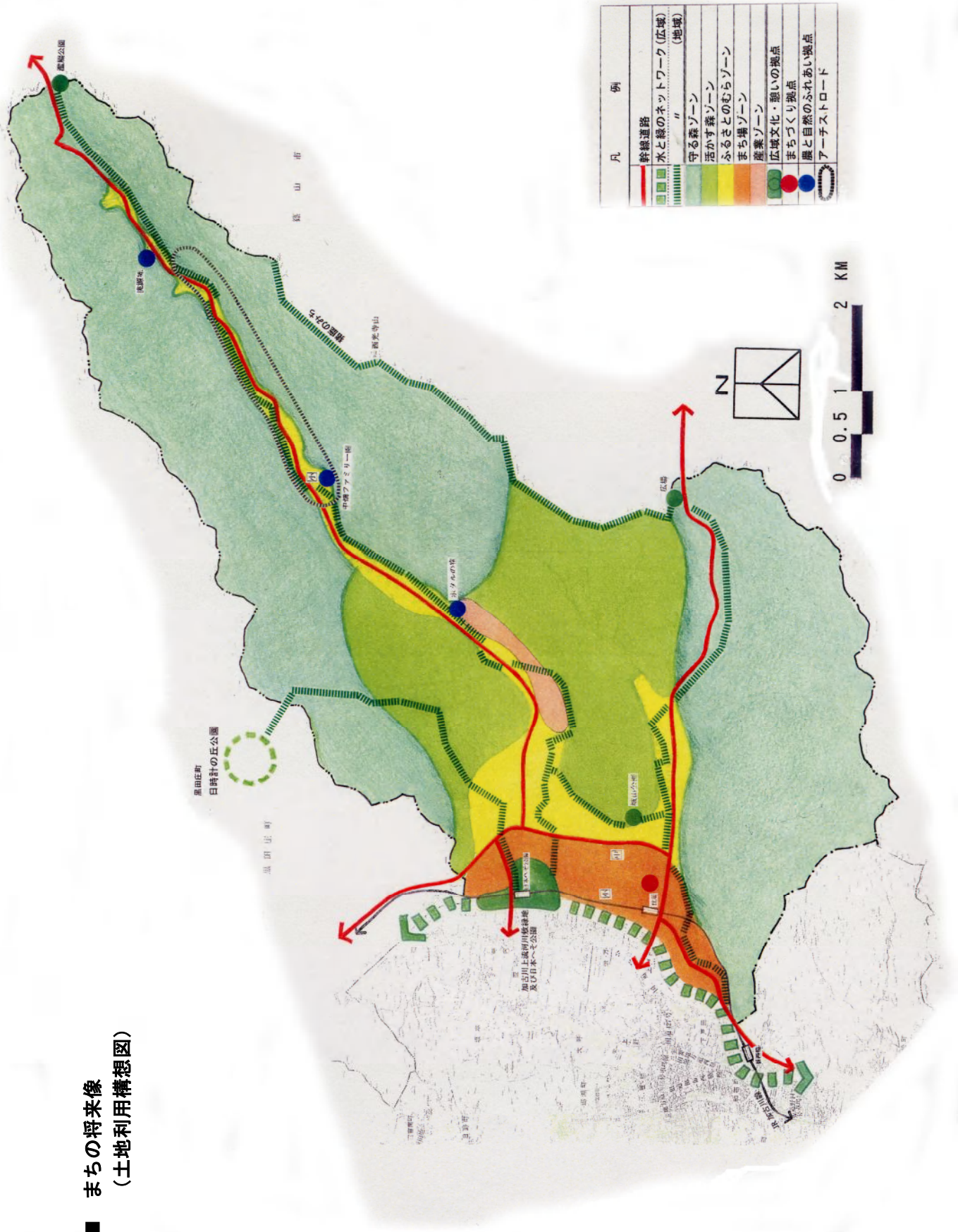
#### (2) まちの中身（区域）

- 保安林や野生の動物等が分布する山林を「守る森ゾーン」とし、自然環境の保護に努める。
- 集落地と守る森ゾーンの間広がる里山やゴルフ場、県立自然公園を「活かす森ゾーン」とし、山林や農地を日常生活やレクリエーションに積極的に活用していく。
- 県道沿いに広がる集落や農地を「ふるさとのむらゾーン」とし、道路や下排水などの生活環境の整備を進めつつ、農地の保全や趣のある集落景観の保全に努める。
- 加古川左岸に広がる集落地については「まち場ゾーン」とし、農用地やため池を保全しつつも、地区全体の中心地として利便施設の誘致・集積を進めていく。
- 中畑工場公園一帯については、「産業ゾーン」とし、環境に配慮した工場の事務所等の誘致を進めていく。

#### (3) まちの集客スポット&チャームポイント（拠点・資源）

- 経緯度地球科学館や岡之山美術館を有する日本へそ公園一帯を「広域文化・憩いの拠点」とし、より集客力のあるイベントの実施や地区住民が気軽に利用できるしくみを検討していく。
- 農協跡地を「まちづくり拠点」とし、子どもからお年寄りまでが多様なコミュニティ活動や特産品販売等ができるようにする。
- 中畑工場公園下のホテルの宿、中畑林間ファミリー園及びすみよし桃源郷等を「農と自然のふれあい拠点」とし、施設の充実や利用促進を図っていく。
- 中畑町の県道西脇篠山線沿いには、画家のアトリエや陶芸家の窯、ガラス工房、水車製作所など特徴ある個人住宅・作業場が分布する。この一帯を「アーティスト街道」とし、作家や経営者の協力を得つつ、一般市民等の制作現場の見学会や作品展覧会、即売会、技術指導会などを開催し、まちの活性化を図る。
- その他地区内に点在する神社や寺を大切に保存し、小学校や公民館についてもコミュニティ活動の拠点として施設の充実や利用促進を図っていく。

■ まちの将来像  
(土地利用構想図)



## 3-2 部門別計画

### (1) 支えあふれあいのまちづくり

#### ● まちづくり拠点整備と地区住民のふれあい事業を進めよう

- 高齢者の技や知恵を活かし、伝え、子どもたちとのふれあいにもつながる事業を子育て支援として展開しましょう。
  - ・高齢者が子どもたちに昔の遊びを教えたり、放課後、児童と一緒に行動したり、子どもたちを一定時間預かったりする制度を検討し推進しましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・少子化で子ども同士のふれあいが少なく、働く親が増え、放課後や用事があるとき安心して気軽に子どもの面倒を見てくれる場所・人・組織がほしい。核家族化や子どもの数自体が少ないこと、子どもの生活スタイルが変化しているため、世代間交流が図りにくい。
- ・一方で比較的時間にゆとりがあり、パワーのあるリタイアメント層が多い。しかし、お年寄り同士、町域や世代を超え、改めて親睦を図ることには比較的消極的である。
- 上記2つをタイアップさせて、「高齢者が協力しあい、生きがいとして、地域の子どもたちを育てていく、また、子ども同士のふれあいの中でたくましい子どもが育っていく。」というしくみをつくる。
- 実施方針・60才以上の方を対象に人材募集、PTA及び教育委員会の協力を得る。
  - ・有給スタッフを置き、管理を万全にする。
  - ・遊びだけでなく「学習」「教養」も視野に入れる。
  - ・場所は公民館や学校内、農協跡地を検討する。

- 農協跡地を活用し、まちづくりふれあい拠点の整備（施設のリニューアル）を推進しましょう。
  - ・農協跡地を地区住民が気軽に語り合い、ふれあうことができるスペースを備えた施設として再整備し、活用しましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・JAみのり比延庄支店が平成16年度末に閉店することになったが、建物はそのまま残る予定であり、テナントを探している状況にあるが、地域のためなら格安で貸し出す意向を確認しており、子育て支援等の拠点として活用することが考えられる。
- 事務室等をリニューアルし、地域のふれあい拠点として活用する。
- 実施方針・ふれあい事業の内容に応じたリニューアル計画を立案し、リフォームを実施するが、まずは有志でモデル的に半年～1年取り組んでみる。
  - ・その後、組織の確立ができれば正式な賃料の設定、管理者の確定、契約業務等を行う。

## (2) ころ豊かな生活・文化のまちづくり

### ① 伝統的な街並みや神社等の歴史資源を保全・創出する取り組みを進めよう

- ・ 楽市通りや農村集落独特の街並みの保全、独自の景観の創出について検討を行い、みんなで街並みづくりのルールをつくりましょう。
- ・ 地域の歴史資源の存在を知らせ、親しんでもらうため、案内板の整備や手作り案内マップを作成しましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・ 歴史資源である神社や道標などが適切に維持管理されていない。歴史資源を知らない者も多く、PRもされていない。街並みに対する意識も低い。
- 実施方針・比較的歴史的な雰囲気が残る楽市通りや農村集落で研究会等を組織し、街並みづくりのルールを検討し、必要に応じ地区計画や建築協定を策定する。
- ・ 特に農協跡地からJR比延駅にかけては伝統的な街並みが残っており、かつ鉄道から当地区への玄関口でもあるため、補助事業（街並み環境整備事業等）を活用し、道路の美装化、街角広場の整備、伝統様式をふまえた建築物の修復や建替等への助成、案内板作成等を行うことを行政とともに検討していく。
  - ・ 既存のまちづくり団体や子どもたちを中心に、手づくりで案内板や看板の制作・取り付けを試みる。デザインについては地区内居住の画家や陶芸家の協力を得る。

### ② 美化清掃ボランティア活動を進めよう

- ・ 既存の団体や個人・グループが楽しみながら参加できる公共空間の清掃活動や花づくり活動等を推進しましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・ 既存の公園や河川沿い等にゴミが目立つ。シルバーパワーで清掃や樹木の剪定等を行えば、環境美化と高齢者の生きがいづくりと一石二鳥となる。
- 実施方針・老人会を中心に有志を募り、活動する。拠点は農協跡地に置く。
- ・ 公園、道路及び河川等の公共空間について清掃・剪定・消毒・水やりを行うとともに花壇の管理等を行う。
  - ・ 定期的なパトロールも行う。
  - ・ 軌道に乗れば収益事業として出前活動（個人の庭・建物等の手入れ、粗大ゴミの運搬等）を行うことを検討する。

### (3) 暮らしと産業の調和するまちづくり

#### ① 地元雇用の拡大につながる工場公園等への企業誘致を促進しよう

- ・若者の地区外流出に歯止めをかけ、まちの活気を高めるためにも、工場団地への企業誘致を促進し、企業と協力し地元雇を増やす等、働く場の確保を推進しましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・人口の減少、若者の流出は、地区に目立った産業がないことが大きな要因となっている。工場公園等の基盤は整備されているものの企業の進出がみられない。
- 実施方針・自治会等を通じ、行政に効果的な産業政策の展開を働きかけていくとともに、地元居住者の雇用の拡大を企業に要請していく。

#### ② 地域の自然や伝統を活かしたコミュニティビジネスを展開しよう

- ・農産物や木材、水などの地域資源や地区に居住する芸術家の作品展示等を地域ぐるみで積極的に進めましょう。そのためには、アーティストや職人の居住地を整備し誘致しましょう。
- ・また、地域の資源を生かした特産品の開発にも地域全体で取り組みましょう。

#### 計画の背景と実施方針

- ・せっかくのほ場整備も休耕田が目立つ。イノシシ、シカやシイタケ、タケノコなど特産品となる資源はあるがブランドはない。炭焼き小屋・桃源郷などの農林業施設の活用が十分ではない。
  - ・ホテルの飼育や祭りが地区住民の手で行われている。
  - ・播州織が衰退しノコギリ屋根の工場が空いている。
  - ・工房、芸術家のアトリエなどが集中している地区がある。
- 実施方針・シルバーパワーや若手住民有志で、JA等の協力も得て、比延ブランドの野菜・炭、イノシシ料理等の販売事業に取り組む。都市住民との交流組織も作る。拠点は農協跡地に置く。
- ・加美町の棚田オーナー制度のような休耕田等を利用したオーナー制度について研究する。
  - ・ホテル祭りを積極的にPRし、観光事業としての展開を検討する。
  - ・空き工場を利用した工房・アトリエへの転用等を検討する。
  - ・芸術家や特徴のある工芸職人の居住・集積を促進するため、現在、芸術家等の居住する地域一帯で住宅・工房等の立地が可能な地域として位置づけ、土地の斡旋や整備を行うことを検討する。また、既に居住している芸術家等には作品の展示販売、制作指導イベント等への協力を働きかけていく。
  - ・上記を総合し、かつ(1)のふれあい事業や(4)のお出かけ支援タクシー等も含めたコミュニティビジネスの可能性を検討する。

#### (4) 自然にやさしい安全・快適なまちづくり

##### ① おでかけ支援として地域タクシーの運行を検討しよう

- ・高齢者が生きがいをもって暮らせ、安心して病院等に通えるよう地域ぐるみで外出を支援するシステム(地域タクシー、乗合い推進活動など)を研究しましょう。

###### 計画の背景と実施方針

- ・地区内を走る神姫バスは1日数本の運行しかなく、公共交通が不便であり、最近地区内のスーパーマーケットもなくなったことから、高齢者は買い物・通院・その他全ての生活面において不便を強いられており、引きこもりがちになるケースも見られる。
- ・JR加古川線も運行本数・乗降客ともに少なく、広域的な交通の便も悪い。アンケートでも公共交通の充実が強く要望されているが、採算面からは運行本数の増加はあまり期待できない。
- 実施方針・高齢者の交通手段の確保に重点を置いた低価格で運行する、会員制のタクシーやお出かけ応援隊の組織など様々な方法を検討していく。
  - ・長期的には高齢者だけでなく、子どもの通学・通院・お稽古ごと等に対応する送迎も視野に入れて検討を進める。

##### ② 子どもたちとともに環境学習を進めよう

- ・子どもたちを美化清掃活動等に積極的に参加させることで、地域の環境を大切にし、まちに対する愛着を育むようにしましょう。
- ・地域の歴史や資源を日常生活の中で、子どもたちが学習できるようにしましょう。そのためには、高齢者とのふれあい活動[1]参照]の中に学習プログラムを組み込みましょう。

###### 計画の背景と実施方針

- ・子どもが野外で遊ばなくなり、世代間の交流も少ない。小川の生物にも変化が見られる。
- 実施方針・小中学校の総合学習と連携し、地域の人々から地域の自然や歴史・産業等を学ぶ仕組みをつくる。また近隣の大学(兵庫教育大学など)とも連携し、専門的な環境調査の実施や知識の習得を進めていく。
  - ・名人、達人にお願いし、子どもたちに技や知識等を伝授する。
  - ・拠点は農協跡地に置く。

##### ③ 道路や歩道の整備、バリアフリー化、交通安全対策を推進しよう

###### 計画の背景と実施方針

- ・道路・歩道の整備はアンケートでこれからの比延地区に一番大事なこととされた項目である。自動車交通量の増加に伴い、歩行者の危険度も増している。また、高齢者も増加していることからバリアフリー化も求められている。
- 実施方針・県道や都市計画道路の整備促進を働きかけていく。
  - ・危険な交差点や段差のある歩道等については、地区住民で安全点検等を行い改良を働きかけていく。

#### ④ 災害に対する安全対策を進めよう

##### 計画の背景と実施方針

- ・平成16年10月の台風23号は、本市中心部に未曾有の大災害をもたらした。またほぼ時を同じくして起こった新潟県の地震は近い将来予想されている東海・東南海地震に対する不安を増大させるものであった。
- ・治水・治山対策はもとより、安全な避難地の確保、建築物の不燃化や耐震補強等のハード面の整備に加え、避難誘導の仕方や助け合い体制といったソフト面の対策も強く求められるところとなっている。

- 実施方針・加古川や地区内を流れる中小河川の洪水対策を県・市に働きかける。
- ・地域防災計画に基づく避難地の安全性や設備の再確認を市に働きかける。
  - ・防災対策に役立つためのハザードマップの各戸配布を市に働きかける。
  - ・地区住民は、避難訓練や救助訓練に進んで参加し、必要な知識や技術を身につけるようにする。
  - ・いざという時の助け合いができるよう、日頃から近隣とのコミュニケーションに心掛けるとともに緊急時連絡体制を整える。
  - ・他地区の災害時には、ボランティア活動に積極的に参加し、ボランティアネットワークを築いておく。
  - ・上記に関連して、災害に対しては地区住民の危機感の欠如が課題であることから、中畑町・住吉町・鹿野町以外の町においては、自主防災組織設立を推進していく。

#### ⑤ 犯罪を防止し、安心して暮らせるようにしよう

##### 計画の背景と実施方針

- ・防犯対策もアンケートでこれからの比延地区に重要なこととされた項目である。
- ・地区住民のふれあいが密であり、コミュニティ意識が高い地域では犯罪も起こりにくい。

- 実施方針・日頃から外出時は隣家に声をかけるなど地域ぐるみで防犯に努める。
- ・夜間の街灯の少ないところでは、消防団やPTA、地区住民の自主的なパトロールや門灯の点灯等を心掛ける。
  - ・最近は凶悪犯罪も多いことから、地元警察と連携し、通報システムやいざというときの対処方法を学んでおく。

## (5) 公民協働によるまちづくり

- 市域全体の取り組みとして、他の地区とも連携を図りつつ、まちづくり人材育成システムやまちづくり活動への助成・支援システムを検討しましょう。

### 計画の背景と実施方針

- ・まちづくりの基本は「人」であるが、比延地区では比也野里まちづくり委員会のように、住民参加・住民主体のまちづくりが推進されており、今後も、多くの地区住民の参画のもとに多様なまちづくりを進めていく必要がある。
  - ・(1)～(5)に掲げた多くの計画を推進していくためには、母体となる団体、それをまとめるリーダーが必要である。
- 実施方針・市域全体の計画として、人材育成のための講座や実践訓練の場を設けることを要望していく。
- ・地区住民の自主的な学習や活動に対し、専門家の派遣や資金的・技術的支援を行うシステムの充実を要請する。
  - ・地区住民は行政任せでなく自主的に考え、計画を進める中で進んで学習し、主体的に行動するよう心掛けていく。このため、各種団体や住民に呼び掛け、(1)～(5)に関する実行委員会を組織する。

## 4 アクションプラン

数多くの部門別計画の内、比延地区まちづくり計画検討委員会での話し合いの中から、地区住民が主体となって取り組むことができると考えられる計画、地区にとって重要と考えられる計画を「アクションプラン」として抽出し、具体化に向けて検討を行った。

具体化に当たっては、5W1H（**when**=いつ、**where**=どこで、**who**=だれが、**what**=何を、**why**=なぜ、**how**=どのように）が重要であることから、検討段階とはいうものの、極力関係者・関係機関の意向把握を行い、プランを策定した。

### (1) 農協跡地を活用した、まちづくりふれあい拠点づくりプロジェクト

- ・農協支所をみんなが気軽に語り合い、ふれあうことができるスペースを備えた施設として再整備し、活用する。

**when** : 平成17年度から

**where** : 拠点はみのり農協支店跡地、対象は比延地区全体

**who** : 地区住民、企業等からの有志、一部農協の協力を得る。

**what** : 地元野菜の販売、日用品の販売、ふれあい喫茶、ふれあいクラブ

**why** : 地域の高齢者の生活を支援する。

生きがいを見つけてもらう。

地区住民のコミュニケーションを高める。

**how** : 第1期：運営実行委員及びボランティアスタッフの募集

代表者（責任者）の選出

野菜販売等の協力の農家の募集（17年度当初）

↓

農協の協力を得て運営実行委員会・ボランティアスタッフによる  
企画案作成

↓

企画案について農協等と調整（経費、事業内容等）

↓

- ・リニューアル工事・清掃等に着手（17年度夏～秋）
- ・契約

↓

ふれあい店舗・喫茶オープン（17年秋～冬）

17年冬：PRイベント実施

↓

第2期：テーマ「子どもたちを対象とした事業への拡大」

- ・子育て支援ボランティアスタッフ募集

運営実行委員・ボランティアスタッフによる企画案作成

↓

企画案について農協等と調整（経費、事業内容等）

↓

リニューアル工事・清掃等に着手（18年夏）

- ・新規契約または契約変更

↓

- ・子育て支援（乳幼児一時保育、学童保育のような事業等）実施（18年秋）

↓

第3期：1期、2期状況を見て、反省・再検討を行い、新規展開またはそれまでの事業の充実等を図る。

## (2) 美化清掃ボランティア活動推進プロジェクト

**when** : 平成17年度から

**where** : 拠点は「樋のつめ」（鹿野町）を予定

**who** : 地区住民、企業等からの有志、既存団体

**what** : 花づくり、緑化推進、ゴミ拾い、草刈り

**why** : 花・緑あふれる美しいまちをつくる。  
地域の高齢者等の生きがいとする。

**how** : 第1期：ボランティアスタッフの募集、既存の花づくり・緑化団体への呼びかけとこれまでの活動の整理（市も協力）（17年度当初～）

↓

- ・代表者（責任者）の選出と既存団体の役割分担等の調整を経た体制づくり
- ・清掃活動・美化活動、技術の習得や伝授の企画案、年間行動計画案の作成

↓

- ・費用負担（会費の徴収等）の調整、行政支援の有無確認

↓

- ・行動開始（17年夏）

↓

第2期：第1期の状況を見て、反省・再検討を行い、新規展開またはそれまでの事業の充実等を図る。

テーマの一例

「小中学校の総合学習や広域的な団体等との連携活動」

### (3) アーティストロード新規イベントプロジェクト

- when** : 平成20年度までに着手  
**where** : アーティストロード一帯または地区全体  
**who** : アーティスト&地区住民、企業等からの有志  
**what** : 展示・制作・販売イベント、田園ミュージアム  
**why** : 地域の産業の活性化  
**how** : 第1期: 運営実行委員及びボランティアスタッフの募集、代表者(責任者)の選出、アーティスト・企業等への呼び掛け



運営委員・ボランティアスタッフ、企業、農家、アーティストによる企画案作成



チラシ等作成



イベント実施



第2期: 第1期の状況を見て、反省・再検討を行い、新規展開またはそれまでの事業の充実等を図る。

例: ジャンルを特定し、岡之山美術館との連携、外部からの著名芸術家の作品を展示、販売等  
子どもの総合学習と連携した課外芸術授業

### (4) 比延ブランドチャレンジプロジェクト

- when** : 平成20年度までに着手  
**where** : 地区全体  
**who** : 企業、農家等からの有志  
**what** : ブランド品の研究、制作・生産、販売等  
**why** : 地域の産業の活性化  
**how** : 第1期: 運営実行委員及びボランティアスタッフの募集、代表者(責任者)の選出、企業、農家、農協、各種研究所等への呼び掛け



運営実行委員・ボランティアスタッフ、企業、農家等による事業化の検討・研究、行政の産業振興担当部局等への支援要請



試作、試生産、販売(例: 比延ナス、すみよし水、いのしかラーメンなど)



販売実績、購入者の評価等の分析



本格事業化の見通しの判定

(5) **地域タクシーの検討**

**when** : 平成20年度までに着手

**where** : 対象は比延地区全体

**who** : 地区住民、企業等からの有志、タクシー・バス会社の協力員等

**what** : 買い物、通院・通学等の送迎

**why** : 地区住民の利便性の確保

**how** : 第1期：検討委員の募集

法制度の研究、事例研究、需要調査（市と共同）



運行システム・料金体系等の検討



運転スタッフの募集、車の確保



試験運行開始



本格事業化見通しの判定

## 〈参考資料〉

1	比延地区まちづくり計画検討委員会の活動記録	1
2	アンケート調査結果の概要	7
3	委員会で検討したプロジェクト	16
4	比延地区まちづくり計画検討委員会規約	23

# 1 比延地区まちづくり計画検討委員会の活動記録

## 平成14年度

### (1) 第1回検討委員会

- ① と き 平成14年11月15日（金） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・委員会規約（案）について
  - ・講演：テーマ：地域から考える「まちづくり」  
講師：兵庫大学経済情報学部 根本 敏行 教授  
内 容：背景…地方分権、財政逼迫、市民主体、合意形成  
既に行き始めている変化…ゆとり教育と週休二日  
（三日）、介護保険  
事例…グラウンドワークのビデオ紹介  
試行実験として…地域をマンションに見立てて

### (2) 第2回検討委員会

- ① と き 平成14年12月19日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・第3次西脇市総合計画の概要について  
企画課 別府 武千 課長補佐
  - ・西脇市環境計画の概要について  
福祉生活部 藤原 逸朗 次長

### (3) 第3回検討委員会

- ① と き 平成15年2月4日（火） 午後7時から
- ② ところ 青年の家 体育室
- ③ 内 容
  - ・役員の選出
  - ・ワークショップ  
テーマ：「比延地区の良いところ悪いところ」  
指導：兵庫大学経済情報学部 根本 敏行 教授  
内 容：ワークショップとは？ グループ分け  
地域の課題（良いところ悪いところ）の抽出  
最重要事項（プロジェクトX）解決の推進方策  
班ごとにまとめ、発表

### (4) 第4回検討委員会

- ① と き 平成15年3月11日（火） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ワークショップ  
指導：兵庫大学経済情報学部 根本 敏行 教授  
内 容：・前回抽出した課題の中から、実際に取り組むべきテーマを選  
び、その実現方策の検討  
・背景（テーマの理由）、企画（解決方法）、効果、課題の別  
にとりまとめ

## 平成15年度

### (1) 第1回検討委員会

- ① と き 平成15年7月18日（金） 午後7時から
- ② と ころ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・平成14年度取組概要
  - ・平成15年度事業計画（案）について
  - ・比延地区の土地利用計画について
  - ・西脇市総合計画の土地利用構想図の概要説明
  - ・比延地区の地域資源について昨年度実施したワークショップを参考に比延地区の地域資源を歴史・自然・観光・文化・環境・産業・人等のジャンル別にピックアップし、地図上に記載  
指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授

### (2) 第2回検討委員会

地区区長会及び比也野里まちづくり委員会との合同ワークショップ

- ① と き 平成15年8月26日（火） 午後7時から
- ② と ころ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・地区まちづくり計画の概要及び本日の概要説明参加者の10年後をイメージするシナリオライティングにより「こうありたいこと」、「実際はこうかな」といった問題点を抽出  
指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授  
協力：比延地区区長会、比也野里まちづくり委員会

### (3) 第3回検討委員会

- ① と き 平成15年9月29日（月） 午後7時から
- ② と ころ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・今までの課題等の意見集約（中間のまとめ）
  - ・ワークショップ評価軸を用いた公共事業評価について  
地区内で実施及び計画されている県・市の公共事業を経費、公共性、重要性等を切り口とした評価軸を用いて評価する  
指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授

### (4) 役員会

- ① と き 平成15年10月16日（木） 午後7時30分から
- ② と ころ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・タウンウォッチングについて
  - ・先進地視察研修について
  - ・全世帯アンケートについて

#### (5) 第4回検討委員会

今後のまちづくりに活かせる地区内の資源を再発見し、策定中の地区まちづくり計画に反映させるためタウンウォッチングを実施する。

① と き 平成15年11月2日（日） 午前9時から午後3時

② と ころ 比延地区全町 4コースで実施

③ 内 容 ○ 午前

- ・ 1班…比延町・上比延町コース
- ・ 2班…中畑町・住吉町コース
- ・ 3班…鹿野町・塚口町コース
- ・ 4班…堀町・高嶋町コース

それぞれの班に分かれ、地域資源の確認、課題の発見等を行う

○ 午後

- ・ 班ごとにウォッチングしてきた資料を整理し発表
- ・ アドバイザーから全体のまとめと提案

指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授

協力：比延地区区長会

#### (6) 第5回検討委員会

滋賀県甲良町の「せせらぎ遊園のまちづくり」を視察し、策定中の地区まちづくり計画に反映させる。

① と き 平成15年11月30日（日） 午前9時出発

② と ころ 滋賀県甲良町 公民館及び町内

③ 内 容 ・ 甲良町の概要

- ・ まちづくりに取り組むきっかけ
- ・ せせらぎ遊園のまちづくりの取組
- ・ まちづくりの視点
- ・ 現地視察

・ 比延地区区長会、北播磨県民局まちづくり課長、根本敏行先生同行

#### (7) 第6回検討委員会

① と き 平成15年12月11日（木） 午後7時から

② と ころ 鹿野町公民館 大集会室

③ 内 容 ・ 甲良町視察の視点

- ・ 比延地区まちづくりアンケート結果の視点
- ・ ワークショップ等により今まで集約した課題解決について検討

指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授

#### (8) 第7回検討委員会

① と き 平成16年1月28日（水） 午後6時から

② と ころ 鹿野町公民館 大集会室

③ 内 容 ・ 今までの課題から考えられるプロジェクト（まちづくりメモ）及びそれを図面に落とした課題マップにより、プロジェクトの具体的展開方法について検討

指導：兵庫大学経済情報学部 根本敏行 教授

- ・まちづくり夜なべ談義（場所：大門）  
 テーマ：「こんなことを考えています。まちづくり」  
 普段気になっているまちづくりに関することを語り合う。

**(9) 第8回検討委員会**

- ① と き 平成16年2月19日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・前回に引き続き「比延地区まちづくりメモ」及び「課題マップ」を資料に、プロジェクト事業の追加及び修正、プロジェクトの具体的な展開方法について検討  
 ・まちづくりを進める上でのキーワード説明  
 指導：兵庫大学経済情報学部 根本 敏行 教授

**(10) 第9回検討委員会**

- ① と き 平成16年3月25日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・根本先生から話題提供  
 地区の目指すべきもの、土地利用等について  
 ・ワークショップによるプロジェクト事業の追加修正及びプロジェクトの具体的な展開方法について検討  
 指導：兵庫大学経済情報学部 根本 敏行 教授

**平成16年度**

**(1) 第1回検討委員会**

- ① と き 平成16年4月27日（水） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・プロジェクトの実施主体の確認（住民・行政・協働の別）  
 ・プロジェクトの取組年度の確認（短期・中期・長期の別）

**(2) 第2回検討委員会**

- ① と き 平成16年6月24日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・コンサルタントの紹介 樋口都市設計 樋口 信子 代表  
 ・プロジェクトの中から、特に重点的に取り組むべきもの（ファーストアクションプラン）の抜粋とそれに対する課題等の検討  
 指導：樋口都市設計 樋口 信子 代表

### (3) 第3回検討委員会

- ① と き 平成16年7月29日(木) 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・比延地区区長会視察研修「有償ボランティア輸送／白タク(鳥取県倉吉市高城地区)」の報告
  - ・テーマ別ファーストアクションプランの検討  
「地域タクシー及びコミュニティバスについて」  
「農協跡地の活用について」
  - ・まちの将来像(全体構想・キャッチコピー)について指導：樋口都市設計 樋口信子 代表

### (4) 第4回検討委員会

- ① と き 平成16年8月26日(木) 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・倉吉市の有償ボランティア輸送にかかるアンケート調査について
  - ・比延地区まちづくり計画の全体構想について  
「まちの骨格(道路・鉄道)」、「まちの中身(区域)」、「まちの集客スポット&チャームポイント(拠点・資源)」の概要説明
  - ・キャッチコピーの検討
  - ・ファーストアクションプランの内容検討及び協力者の掘り起こしについて指導：樋口都市設計 樋口信子 代表

### (5) みのり農協との調整会

- ① と き 平成16年9月30日(木) 午後1時30分から
- ② ところ みのり農協比延庄支店 ホール
- ③ 内 容
  - ・撤退の経過、農協の方針、施設の概要について説明
  - ・意見交換、今後の課題等について指導：樋口都市設計 樋口信子 代表

### (6) 第5回検討委員会

- ① と き 平成16年9月30日(木) 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容
  - ・協力者の紹介 川委員会の宮崎雅儀さん(上比延町)、農産物を田空に納められている山上章三さん
  - ・県民交流広場事業及び田園空間博物館の特産品展示販売の概要説明
  - ・岡山県上斎原村イベントの紹介
  - ・まちの将来像(全体構想図及びキャッチコピー)について
  - ・農協との調整会の概要報告
  - ・ワークショップ  
アクションプランについて  
農協跡地利用について  
比延ブランド野菜づくり等について
  - ・宮崎さん・山上さんから話題提供指導：樋口都市設計 樋口信子 代表

**(7) 第6回検討委員会**

- ① と き 平成16年11月15日（月） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・台風23号による被害状況の説明  
・全体構想の確認（キャッチフレーズの再確認について）  
・まちづくり計画の提案書（たたき台）の概要説明及び意見交換  
指導：樋口都市設計 樋 口 信 子 代表

**(8) 第7回検討委員会**

- ① と き 平成16年12月2日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・キャッチフレーズの確定「子午線織りなす ふるさと★比也野」  
・まちづくり計画の提案書（たたき台）の追加修正  
・ファーストアクションプランの具体化について  
・住民説明会について  
指導：樋口都市設計 樋 口 信 子 代表

**(9) 第8回検討委員会**

- ① と き 平成16年12月16日（木） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・まちづくり計画の提案書（たたき台）の内容確認  
・住民説明会の開催内容について  
指導：樋口都市設計 樋 口 信 子 代表

**(10) 比延地区まちづくり計画案住民説明会「まちづくり提案キャラバン」**

- ① と き 平成17年1月19日（水） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・趣旨説明、取組概要報告、計画書の概要説明（地区の特徴と課題、まちづくりの基本目標、アクションプラン）  
・意見交換（グループ討議による）  
・参加者108名  
（地元市議会議員、各地区区長会長及びまちづくり委員会会長含む）

**(11) 第9回検討委員会**

- ① と き 平成17年3月4日（金） 午後7時から
- ② ところ 鹿野町公民館 大集会室
- ③ 内 容 ・アクションプラン参加者・協力者アンケートについて  
・まちづくり計画提案書（平成16年度版）概要版の作成について  
・住民説明会時の意見等について  
指導：樋口都市設計 樋 口 信 子 代表

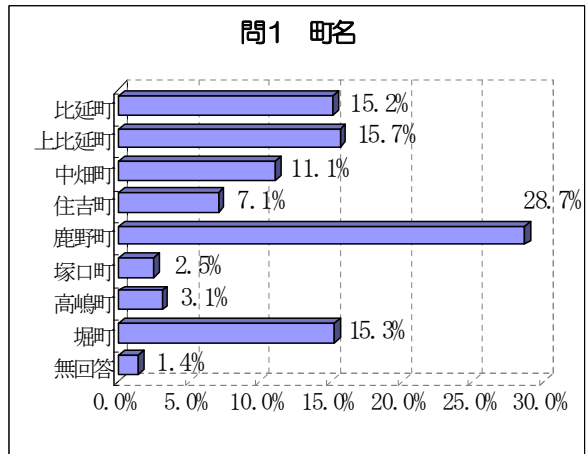
**(12) 西脇市長への「まちづくり計画提案書（平成16年度版）」提出**

- ① と き 平成17年3月30日（水） 午後4時30分から
- ② ところ 西脇市役所 応接室
- ③ 内 容 ・計画づくりの取組概要説明  
・まちづくり計画提案書（平成16年度版）提出

## 2 アンケート調査結果の概要

### 問1 お住まいの町名は

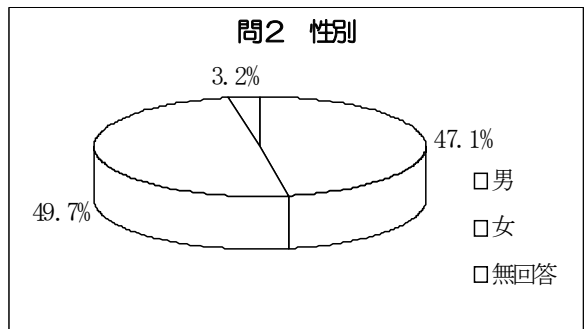
町名	回答数	割合
1 比延町	157	15.2%
2 上比延町	162	15.7%
3 中畑町	115	11.1%
4 住吉町	73	7.1%
5 鹿野町	297	28.7%
6 塚口町	26	2.5%
7 高嶋町	32	3.1%
8 堀町	158	15.3%
9 無回答	15	1.4%
計	1035	100.0%



鹿野町の割合は28.7%と高く、全体の約3分の1を占めています。塚口町の割合は2.5%、高嶋町は3.1%と低いです。鹿野町の意向がやや強めに、塚口町、高嶋町の意向はやや弱めに反映されると考えられます。

### 問2 性別は

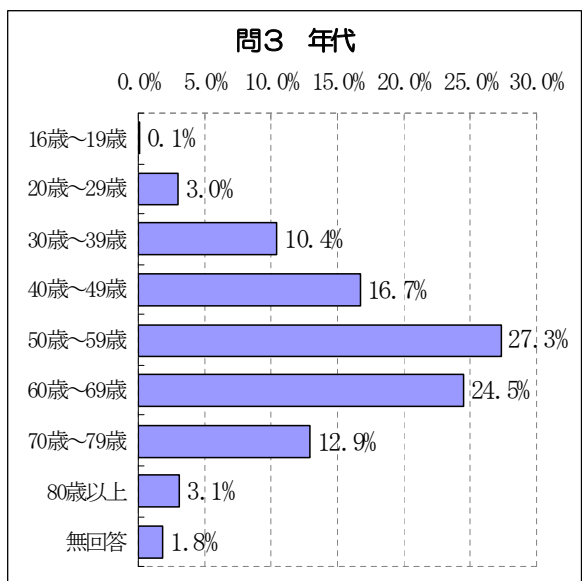
性別	回答数	割合
1 男	488	47.1%
2 女	514	49.7%
3 無回答	33	3.2%
計	1035	100.0%



男女の割合は2.6%女性の方が多いです。しかし、比延地区の人口の男女別の構成比とほぼ同じですので、バランス良く回収できています。

### 問3 年代は

年代	回答数	割合
1 16歳～19歳	1	0.1%
2 20歳～29歳	31	3.0%
3 30歳～39歳	108	10.4%
4 40歳～49歳	173	16.7%
5 50歳～59歳	283	27.3%
6 60歳～69歳	254	24.5%
7 70歳～79歳	134	12.9%
8 80歳以上	32	3.1%
9 無回答	19	1.8%
計	1035	100.0%

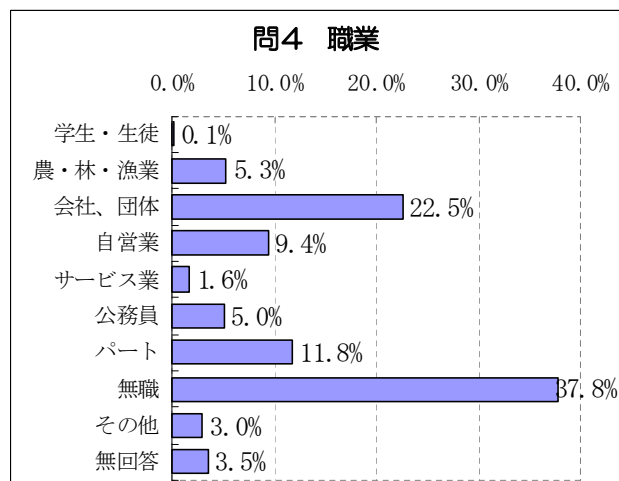


50～59歳の割合は27.3%、60～69歳は24.5%と高く、16～19歳は0.1%、20～29歳は3.0%と低いです。比延地区の特徴を示す結果であると想定されます。

比延地区まちづくりアンケート調査 集計結果表

問4 職業は

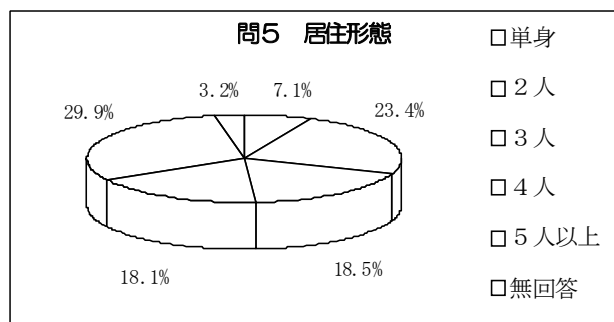
職業	回答数	割合
1 学生・生徒	1	0.1%
2 農・林・漁業	55	5.3%
3 会社、団体	233	22.5%
4 自営業	97	9.4%
5 サービス業	17	1.6%
6 公務員	52	5.0%
7 パート	122	11.8%
8 無職	391	37.8%
9 その他	31	3.0%
10 無回答	37	3.5%
計	1035	100.0%



無職の割合が37.8%と最も高く、意向が強めに反映されると考えられます。学生・生徒の割合は0.1%と最も低く、サービス業も1.6%と低めです。これも比延地区の特徴の1つであると想定されます。

問5 お住まいは

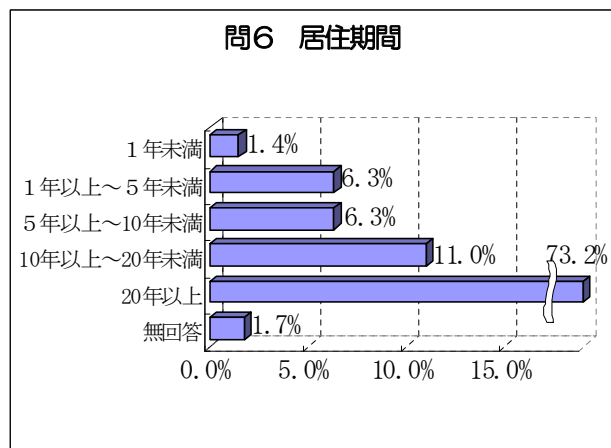
形態	回答数	割合
1 単身	73	7.1%
2 2人	242	23.4%
3 3人	191	18.5%
4 4人	187	18.1%
5 5人以上	309	29.9%
6 無回答	33	3.2%
計	1035	100.0%



5人以上が29.9%と最も高く、単身が7.1%と最も低いです。単身が少なく、多人数世帯が多いという結果も比延地区の特徴であると考えられます。

問6 居住期間は

年数	回答数	割合
1 1年未満	15	1.4%
2 1年以上～5年未満	65	6.3%
3 5年以上～10年未満	65	6.3%
4 10年以上～20年未満	114	11.0%
5 20年以上	758	73.2%
6 無回答	18	1.7%
計	1035	100.0%

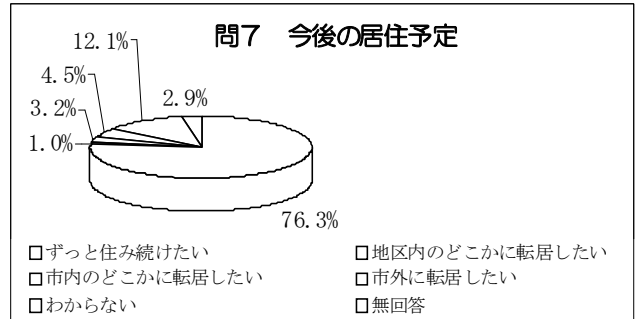


20年以上の割合は73.2%と非常に高いです。長く住み続けている人が多いことも特徴的です。

比延地区まちづくりアンケート調査 集計結果表

問7 今後の居住予定

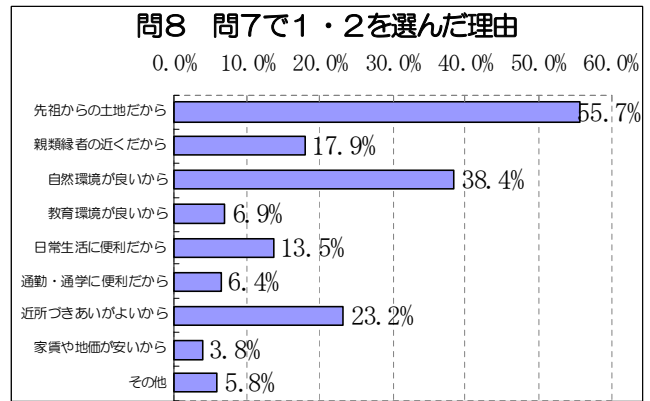
居住予定	回答数	割合
1 ずっと住み続けたい	790	76.3%
2 地区内のどこかに転居したい	10	1.0%
3 市内のどこかに転居したい	33	3.2%
4 市外に転居したい	47	4.5%
5 わからない	125	12.1%
6 無回答	30	2.9%
計	1035	100.0%



「ずっと住み続けたい」が76.3%と非常に高く特徴的です。

問8 問7で1・2を選んだ理由

理由	回答数	割合
1 先祖からの土地だから	576	55.7%
2 親類縁者の近くだから	185	17.9%
3 自然環境が良いから	397	38.4%
4 教育環境が良いから	71	6.9%
5 日常生活に便利だから	140	13.5%
6 通勤・通学に便利だから	66	6.4%
7 近所づきあいがよいから	240	23.2%
8 家賃や地価が安いから	39	3.8%
9 その他	60	5.8%

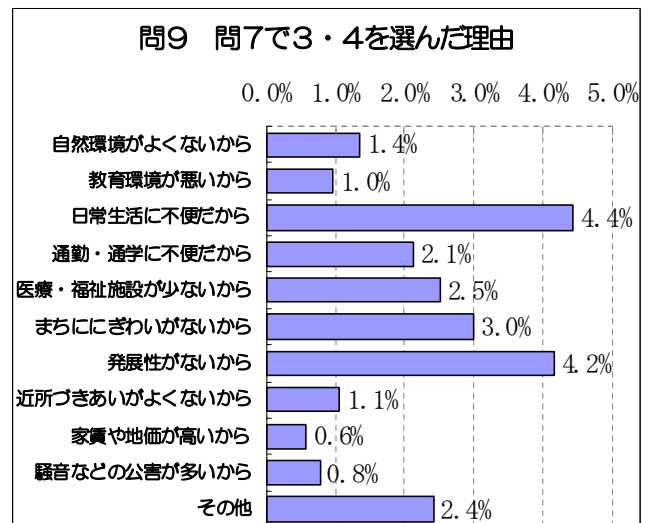


※ 割合は回答者1,035人に対するもの

「先祖からの土地だから」の割合は55.7%と最も高いです。また、「近所づきあいがよいから」は23.2%、「親類縁者の近くだから」は17.9%も高い割合を示していることから地縁血縁型のコミュニティの結束の固さが作用していると考えられます。「自然環境が良いから」の割合も38.4%と高い割合を示しています。

問9 問7で3・4を選んだ理由

理由	回答数	割合
1 自然環境がよくないから	14	1.4%
2 教育環境が悪いから	10	1.0%
3 日常生活に不便だから	46	4.4%
4 通勤・通学に不便だから	22	2.1%
5 医療・福祉施設が少ないから	26	2.5%
6 まちのにぎわいがないから	31	3.0%
7 発展性がないから	43	4.2%
8 近所づきあいがよくないから	11	1.1%
9 家賃や地価が高いから	6	0.6%
10 騒音などの公害が多いから	8	0.8%
11 その他	25	2.4%



※ 割合は回答者1,035人に対するもの

「日常生活に不便だから」の割合は4.4%、「発展性がないから」は4.2%で上位を占めています。

比延地区まちづくりアンケート調査 集計結果表

問10 買い物など日常の外出

外出先

外出先	買い物(食料品)		買い物(衣料品)		買い物(その他)		飲食		芸術鑑賞		塾・習い事		病院・医院	
1 比延地区内	429	41.4%	36	3.5%	168	16.2%	91	8.8%	7	0.7%	86	8.3%	77	7.4%
2 西脇市内(比延地区以外)	891	86.1%	661	63.9%	894	86.4%	840	81.2%	222	21.4%	294	28.4%	938	90.6%
3 多可郡	20	1.9%	17	1.6%	17	1.6%	14	1.4%	29	2.8%	12	1.2%	37	3.6%
4 加東郡	139	13.4%	281	27.1%	154	14.9%	171	16.5%	9	0.9%	14	1.4%	65	6.3%
5 小野・加西・三木・吉川	83	8.0%	254	24.5%	136	13.1%	137	13.2%	16	1.5%	13	1.3%	39	3.8%
6 三田・篠山	31	3.0%	86	8.3%	34	3.3%	50	4.8%	179	17.3%	4	0.4%	4	0.4%
7 姫路方面	6	0.6%	39	3.8%	13	1.3%	13	1.3%	105	10.1%	2	0.2%	3	0.3%
8 大阪・神戸方面	25	2.4%	194	18.7%	38	3.7%	71	6.9%	375	36.2%	11	1.1%	36	3.5%
9 その他	16	1.5%	21	2.0%	13	1.3%	17	1.6%	28	2.7%	17	1.6%	13	1.3%

※ 割合は回答者1,035人に対するもの

買い物など日常の外出先は圧倒的に西脇市内が中心となっています。芸術鑑賞のみが大阪・神戸方面で最も高い割合を示しています。

交通手段

交通手段	買い物(食料品)		買い物(衣料品)		買い物(その他)		飲食		芸術鑑賞		塾・習い事		病院・医院	
1 徒歩	54	5.2%	13	1.3%	22	2.1%	17	1.6%	6	0.6%	16	1.5%	23	2.2%
2 自転車	139	13.4%	66	6.4%	88	8.5%	48	4.6%	20	1.9%	33	3.2%	68	6.6%
3 バイク	74	7.1%	54	5.2%	62	6.0%	35	3.4%	12	1.2%	14	1.4%	61	5.9%
4 鉄道	6	0.6%	23	2.2%	8	0.8%	11	1.1%	63	6.1%	1	0.1%	7	0.7%
5 バス	27	2.6%	50	4.8%	26	2.5%	18	1.7%	83	8.0%	9	0.9%	26	2.5%
6 マイカー	847	81.8%	863	83.4%	859	83.0%	851	82.2%	597	57.7%	322	31.1%	821	79.3%
7 タクシー	13	1.3%	13	1.3%	9	0.9%	12	1.2%	17	1.6%	5	0.5%	29	2.8%

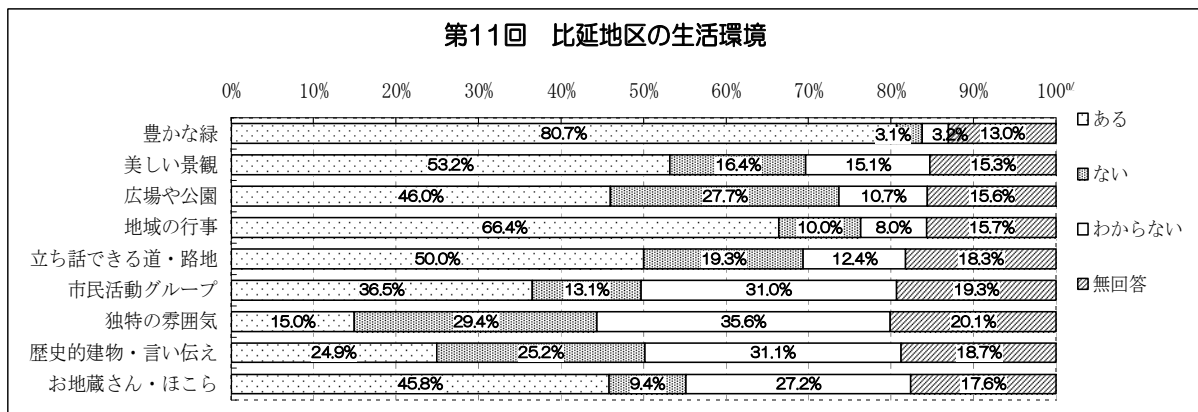
※ 割合は回答者1,035人に対するもの

交通手段は圧倒的にマイカーの割合が高く、鉄道、バスが低いです。このことから比延地区は「クルマ社会」であることが特徴といえます。

問11 比延地区の生活環境

資源	あ		な		わ		無		計	
1 豊かな緑	835	80.7%	32	3.1%	33	3.2%	135	13.0%	1035	100.0%
2 美しい景観	551	53.2%	170	16.4%	156	15.1%	158	15.3%	1035	100.0%
3 広場や公園	476	46.0%	287	27.7%	111	10.7%	161	15.6%	1035	100.0%
4 地域の行事	687	66.4%	103	10.0%	83	8.0%	162	15.7%	1035	100.0%
5 立ち話できる道・路地	518	50.0%	200	19.3%	128	12.4%	189	18.3%	1035	100.0%
6 市民活動グループ	378	36.5%	136	13.1%	321	31.0%	200	19.3%	1035	100.0%
7 独特の雰囲気	155	15.0%	304	29.4%	368	35.6%	208	20.1%	1035	100.0%
8 歴史的建物・言い伝え	258	24.9%	261	25.2%	322	31.1%	194	18.7%	1035	100.0%
9 お地藏さん・ほこら	474	45.8%	97	9.4%	282	27.2%	182	17.6%	1035	100.0%

「豊かな緑」の割合は80.7%と高いです。「地域の行事」は66.4%、「立ち話できる道・路地」は50.0%と高く、伝統的なコミュニティの良さが反映されていると考えられます。「お地藏さん・ほこら」は45.8%と高く、重要な地域資源であると考えられます。

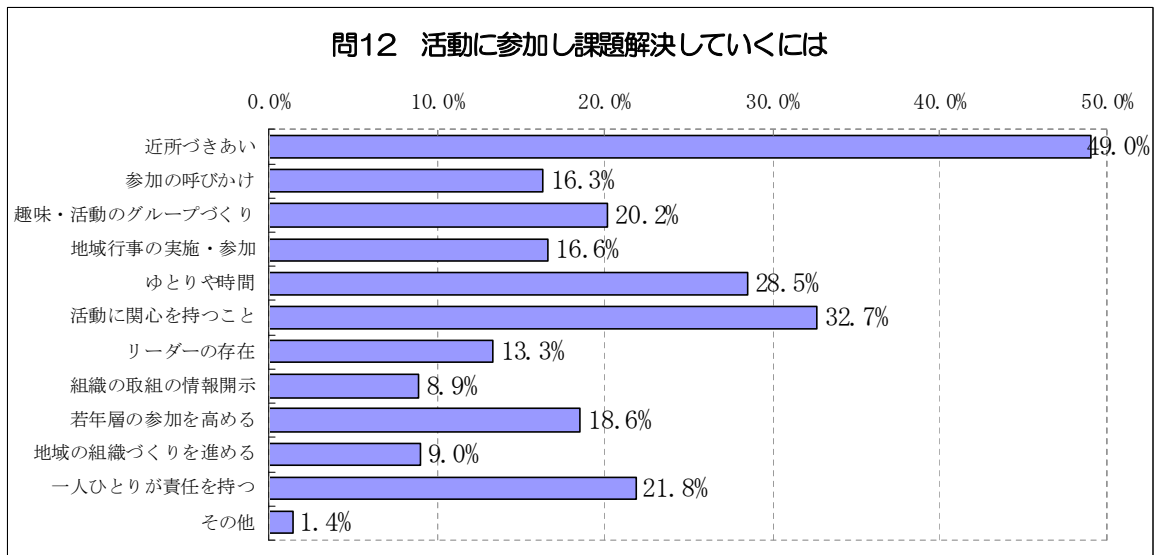


問12 活動に参加し課題解決していくには

解決方法	回答数	割合
1 近所づきあい	507	49.0%
2 参加の呼びかけ	169	16.3%
3 趣味・活動のグループづくり	209	20.2%
4 地域行事の実施・参加	172	16.6%
5 ゆとりや時間	295	28.5%
6 活動に関心を持つこと	338	32.7%
7 リーダーの存在	138	13.3%
8 組織の取組の情報開示	92	8.9%
9 若年層の参加を高める	192	18.6%
10 地域の組織づくりを進める	93	9.0%
11 一人ひとりが責任を持つ	226	21.8%
12 その他	14	1.4%

※ 割合は回答者1,035人に対するもの

「近所づきあい」の割合は49.0%と最も高く、地縁的コミュニティを重視していると考えられます。しかし、一方で「活動に関心を持つこと」、「若年層の参加を高める」も高い割合であることから課題解決のためには、地縁的な結びつきだけでは不足することを示していると考えられます。



問13 この1年間に参加した活動

参加した活動	回答数	割合
1 地域福祉活動	93	9.0%
2 青少年育成活動	62	6.0%
3 子育て支援活動	31	3.0%
4 環境・リサイクル活動	223	21.5%
5 河川などのクリーン作戦	500	48.3%
6 山の下刈り・溝ぶしん	494	47.7%
7 緑化推進活動	57	5.5%
8 地域安全活動	30	2.9%
9 文化・スポーツ活動の企画運営	89	8.6%
10 伝統行事・祭りなどの行事	440	42.5%
11 フリーマーケットなどの運営・出店	81	7.8%
12 施設の慰問などのボランティア	117	11.3%
13 その他	19	1.8%

※ 割合は回答者1,035人に対するもの

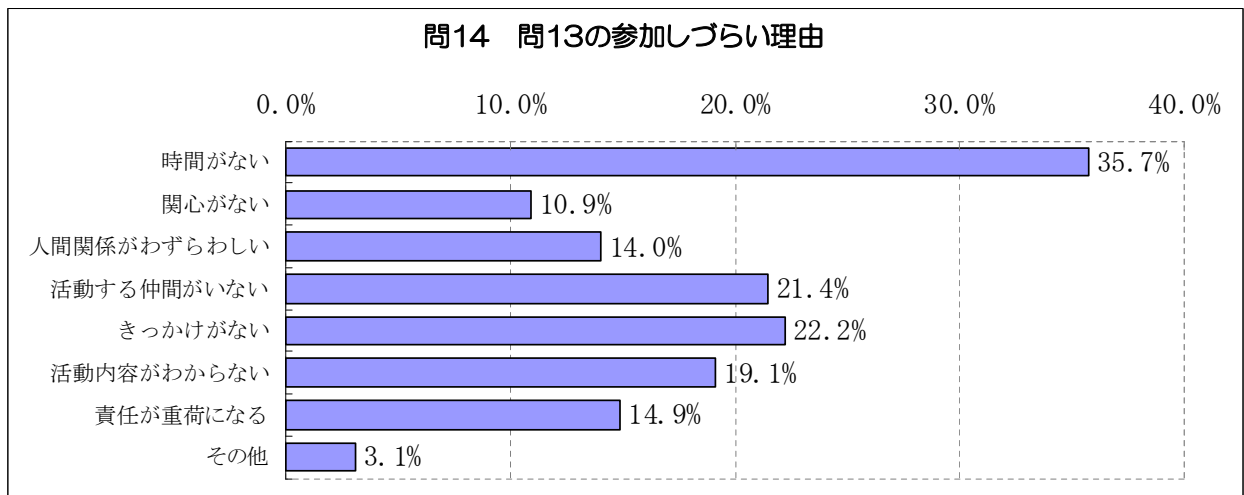
「河川などのクリーン作戦」の割合は48.3%と最も高く、「山の下刈り・溝ぶしん」は47.7%、「環境・リサイクル活動」も21.5%と高いことから、環境整備に熱心であることが読みとれます。また、地区の良さを「自然環境」としていることと呼応しています。「伝統行事・祭りなどの行事」も42.5%と高く、これも比延地区の特徴といえます。また、まちづくりの原動力として期待できます。「地域安全活動」は2.9%と最も低い割合ですが、このことは治安が良いことになるとも考えられます。

問14 問13の参加しづらい理由

参加しづらい理由	回答数	割合
1 時間がない	370	35.7%
2 関心がない	113	10.9%
3 人間関係がわずらわしい	145	14.0%
4 活動する仲間がいない	222	21.4%
5 きっかけがない	230	22.2%
6 活動内容がわからない	198	19.1%
7 責任が重荷になる	154	14.9%
8 その他	32	3.1%

活動に参加しづらい理由として、「時間がない」の割合は35.7%と最も高くなっています。

※ 割合は回答者1,035人に対するもの



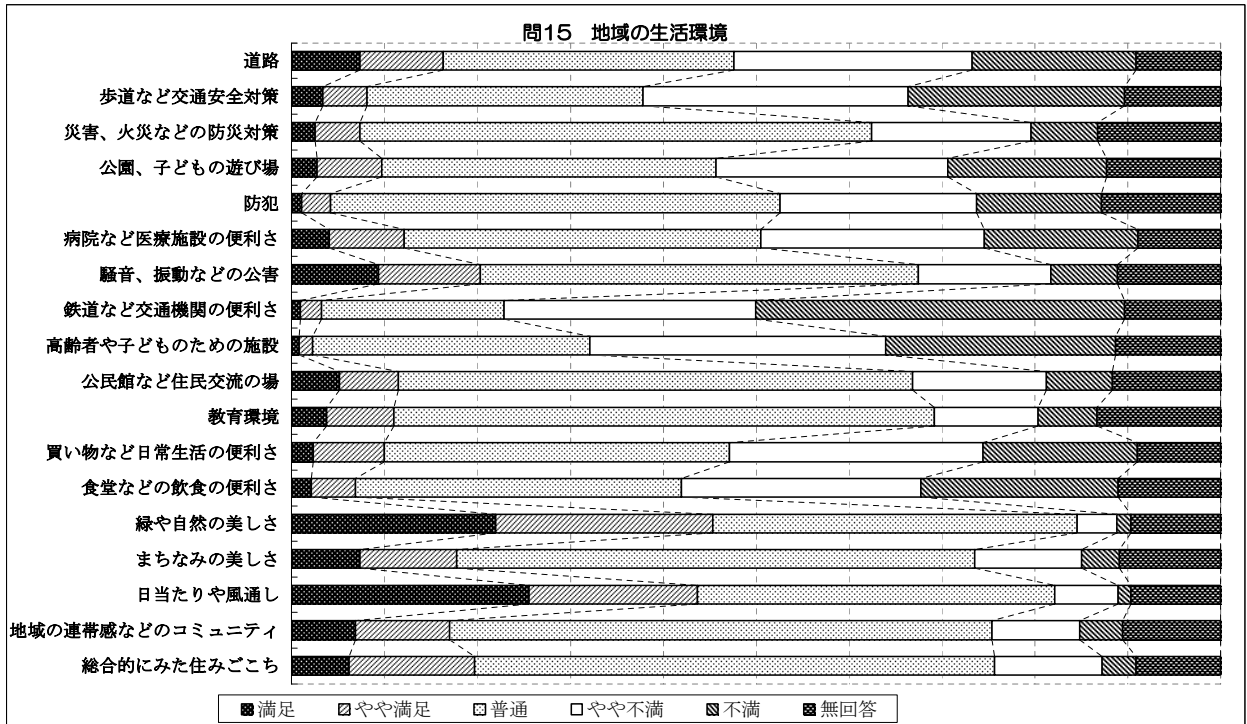
比延地区まちづくりアンケート調査 集計結果表

問15 地域の生活環境

項目	満足		やや満足		普通		やや不満		不満		無回答		計	
1 道路	76	7.3%	93	9.0%	324	31.3%	265	25.6%	183	17.7%	94	9.1%	1035	100.0%
2 歩道など交通安全対策	35	3.4%	49	4.7%	307	29.7%	296	28.6%	241	23.3%	107	10.3%	1035	100.0%
3 災害、火災などの防災対策	26	2.5%	50	4.8%	570	55.1%	178	17.2%	74	7.1%	137	13.2%	1035	100.0%
4 公園、子どもの遊び場	28	2.7%	72	7.0%	373	36.0%	258	24.9%	177	17.1%	127	12.3%	1035	100.0%
5 防犯	11	1.1%	32	3.1%	501	48.4%	219	21.2%	139	13.4%	133	12.9%	1035	100.0%
6 病院など医療施設の便利さ	42	4.1%	83	8.0%	398	38.5%	249	24.1%	171	16.5%	92	8.9%	1035	100.0%
7 騒音、振動などの公害	97	9.4%	113	10.9%	488	47.1%	148	14.3%	74	7.1%	115	11.1%	1035	100.0%
8 鉄道など交通機関の便利さ	10	1.0%	23	2.2%	204	19.7%	280	27.1%	411	39.7%	107	10.3%	1035	100.0%
9 高齢者や子どものための施設	8	0.8%	15	1.4%	309	29.9%	330	31.9%	256	24.7%	117	11.3%	1035	100.0%
10 公民館など住民交流の場	53	5.1%	66	6.4%	573	55.4%	149	14.4%	73	7.1%	121	11.7%	1035	100.0%
11 教育環境	39	3.8%	75	7.2%	602	58.2%	116	11.2%	65	6.3%	138	13.3%	1035	100.0%
12 買い物など日常生活の便利さ	24	2.3%	79	7.6%	385	37.2%	282	27.2%	172	16.6%	93	9.0%	1035	100.0%
13 食堂などの飲食の便利さ	22	2.1%	49	4.7%	363	35.1%	267	25.8%	220	21.3%	114	11.0%	1035	100.0%
14 緑や自然の美しさ	227	21.9%	242	23.4%	406	39.2%	44	4.3%	16	1.5%	100	9.7%	1035	100.0%
15 まちなみの美しさ	76	7.3%	108	10.4%	577	55.7%	119	11.5%	42	4.1%	113	10.9%	1035	100.0%
16 日当たりや風通し	264	25.5%	188	18.2%	398	38.5%	71	6.9%	14	1.4%	100	9.7%	1035	100.0%
17 地域の連帯感などのコミュニティ	71	6.9%	105	10.1%	604	58.4%	98	9.5%	48	4.6%	109	10.5%	1035	100.0%
18 総合的にみた住みごころ	64	6.2%	140	13.5%	579	55.9%	120	11.6%	38	3.7%	94	9.1%	1035	100.0%

※ 割合は回答者1,035人に対するもの

「道路」、「歩道などの交通安全対策」にやや不満があると考えられます。「緑や自然の美しさ」、「日当たりや風通し」は満足の割合が高く、自然環境が比延地区の良さであると考えられます。「鉄道など交通機関の便利さ」の不満の割合は39.7%と最も高く、次に、「高齢者や子どものための施設」が24.7%と高くなっています。

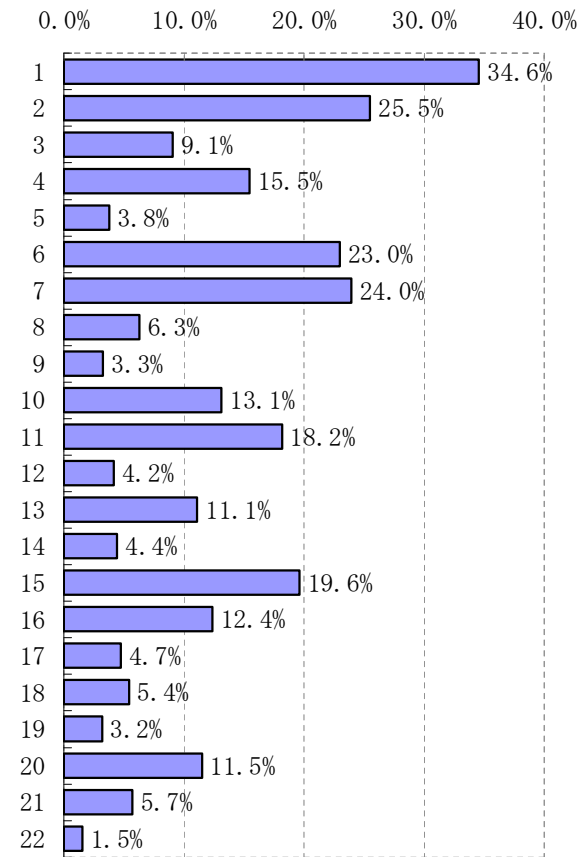


問16 今後比延地区に重要なこと

項目	回答数	割合
1 道路や歩道などの整備	358	34.6%
2 汽車などの公共交通の充実	264	25.5%
3 緑化推進や公園の整備	94	9.1%
4 水害、火災などの防災対策	160	15.5%
5 騒音、振動などの環境対策	39	3.8%
6 河川、道路などの美化	238	23.0%
7 安心して暮らせるバリアフリーなどの整備	248	24.0%
8 スポーツ・レクリエーション活動の推進	65	6.3%
9 文化・芸術の振興	34	3.3%
10 学校教育の充実	136	13.1%
11 商工業の振興や雇用の拡大	188	18.2%
12 農・林業の振興	43	4.2%
13 豊かな自然の保全・活用	115	11.1%
14 コミュニティ活動の充実	46	4.4%
15 防犯などの安全対策	203	19.6%
16 交流人口の増大や定住人口の促進	128	12.4%
17 歴史や文化を生かしたまちづくり	49	4.7%
18 環境問題への取り組み	56	5.4%
19 ボランティアなどのまちづくり活動	33	3.2%
20 まちづくりのための人材育成	119	11.5%
21 地域情報化の推進	59	5.7%
22 その他	16	1.5%

※ 割合は回答者1,035人に対するもの

問16 今後比延地区に重要なこと



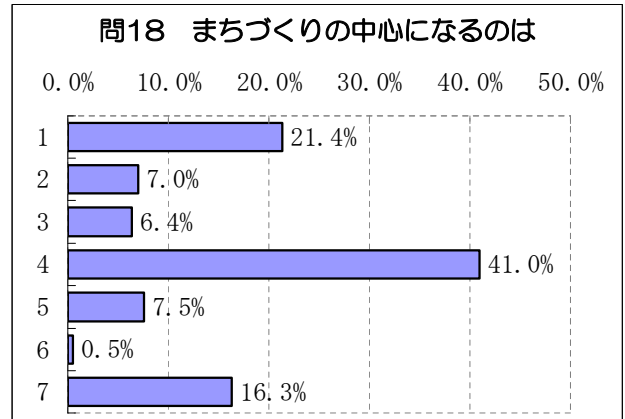
道路や歩道の整備、公共交通等の充実、河川や道路などの美化、バリアフリー等の生活基盤の整備が必要との回答が多く、このこともまちづくりの課題であると考えられます。

問17 今後のまちづくりに生かすべきもの

多くの皆さんから御意見をいただきましたが、紙面の都合で記載は省略させていただきます。

問18 これからのまちづくりの中心になるのは

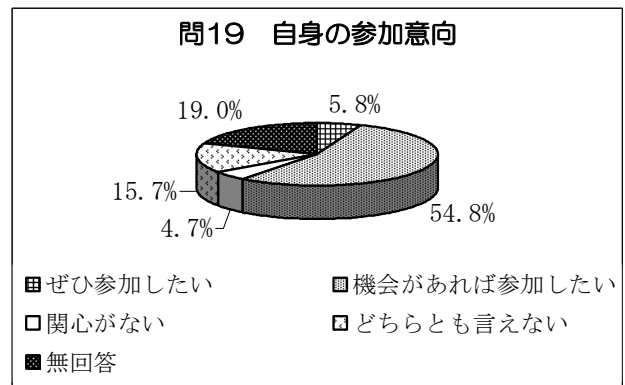
項目	回答数	割合
1 住民自身（個人）	221	21.4%
2 各町区長会（自治会）	72	7.0%
3 市などの行政	66	6.4%
4 住民・自治会・行政・企業・団体など	424	41.0%
5 わからない	78	7.5%
6 その他	5	0.5%
7 無回答	169	16.3%
計	1035	100.0%



「住民・自治会・行政・企業・団体など」の割合は41.0%と最も高くなっています。やはり、地縁的コミュニティがまちづくりの「核」になると考えられます。

問19 ご自身のまちづくりへの参加意向

項目	回答数	割合
1 ぜひ参加したい	60	5.8%
2 機会があれば参加したい	567	54.8%
3 関心がない	49	4.7%
4 どちらとも言えない	162	15.7%
5 無回答	197	19.0%
計	1035	100.0%



「機会があれば参加したい」の割合は54.8%と最も高くなっています。

問20 比延地区のまちづくりについての意見

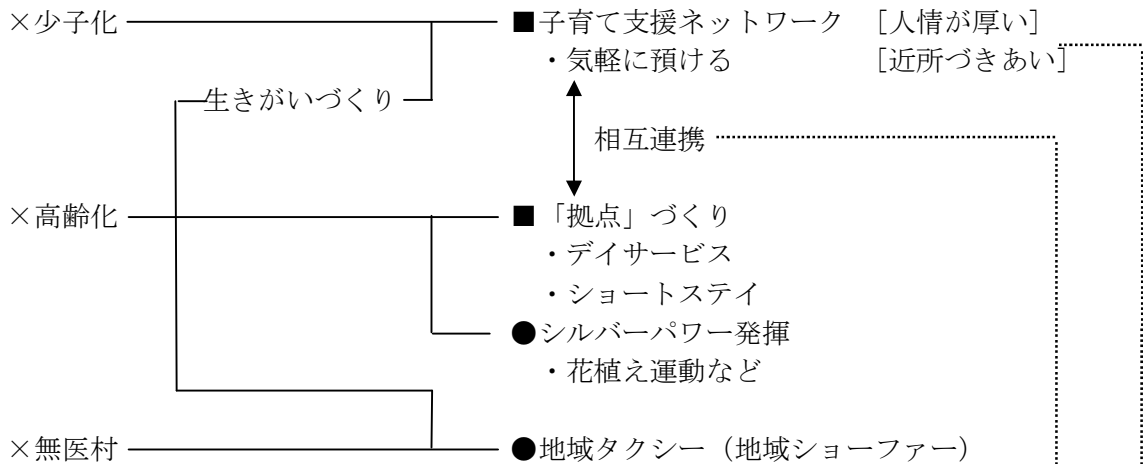
多くの皆さんから御意見をいただきましたが、紙面の都合で記載は省略させていただきます。

### 3 委員会で検討したプロジェクト

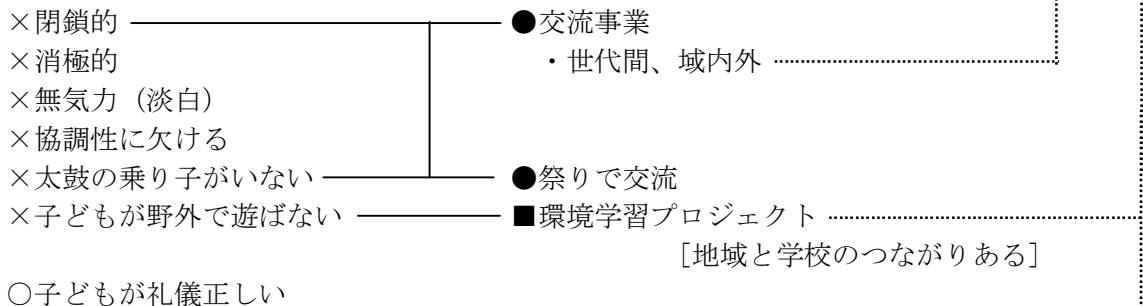
#### 西脇市 比延地区まちづくりメモ

#### 1 支えあうふれあいのまちづくり

##### 『福祉』

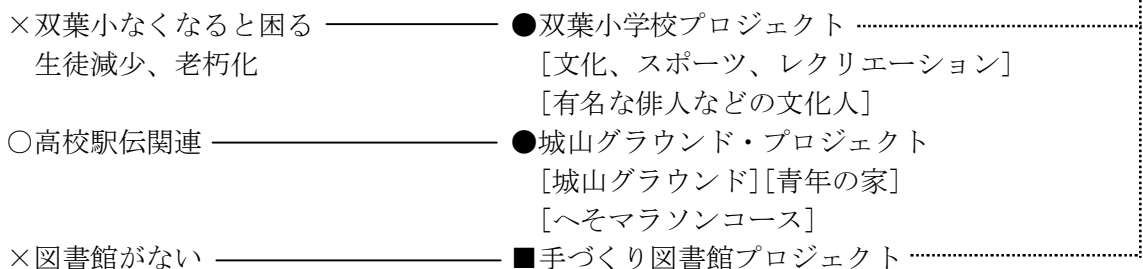


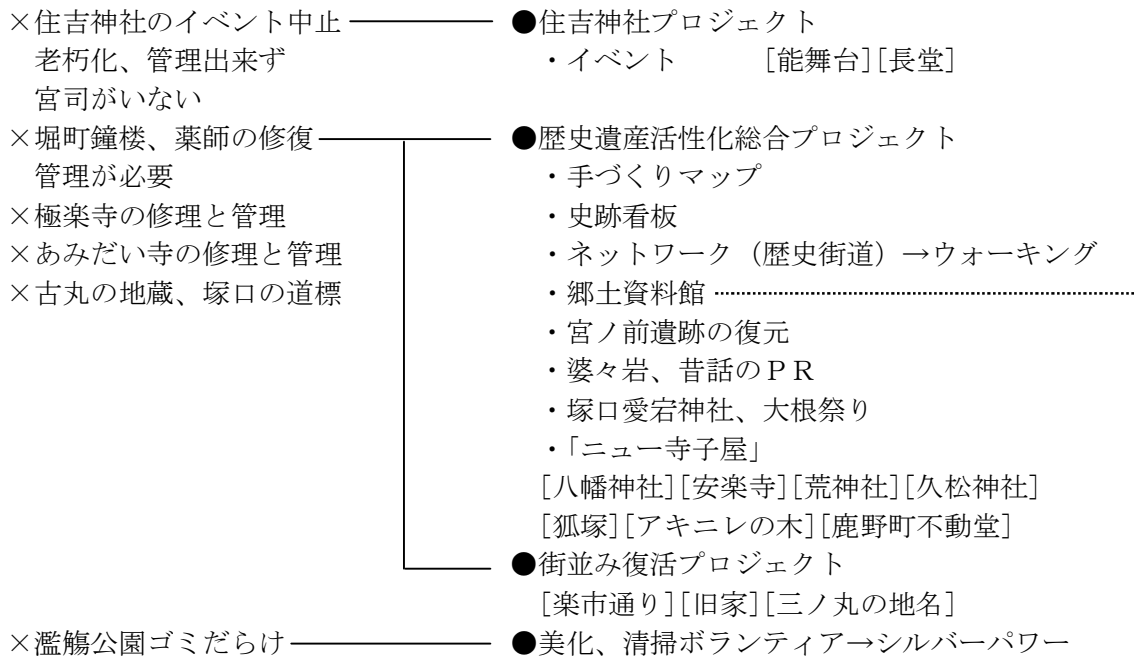
##### 『コミュニティ』



#### 2 こころ豊かな生活・文化のまちづくり

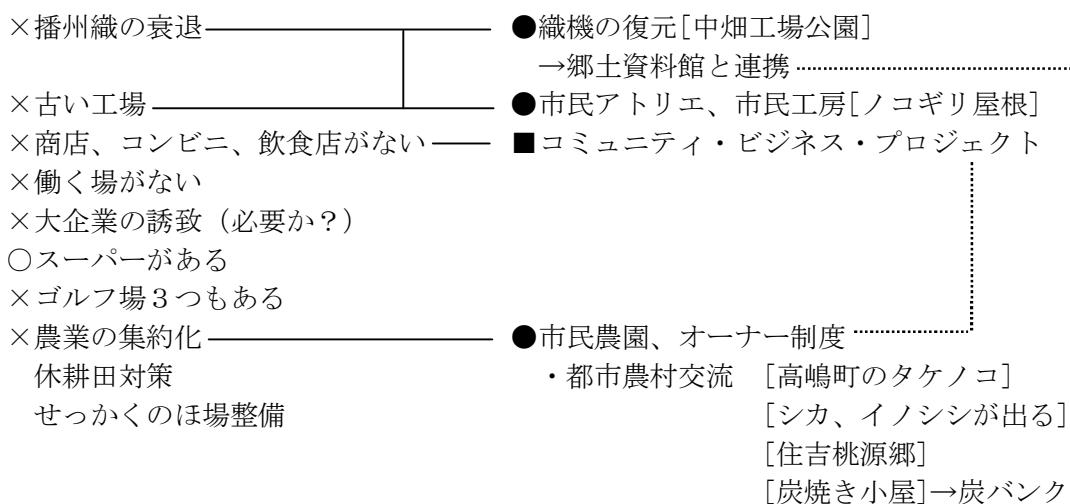
##### 『教育文化』





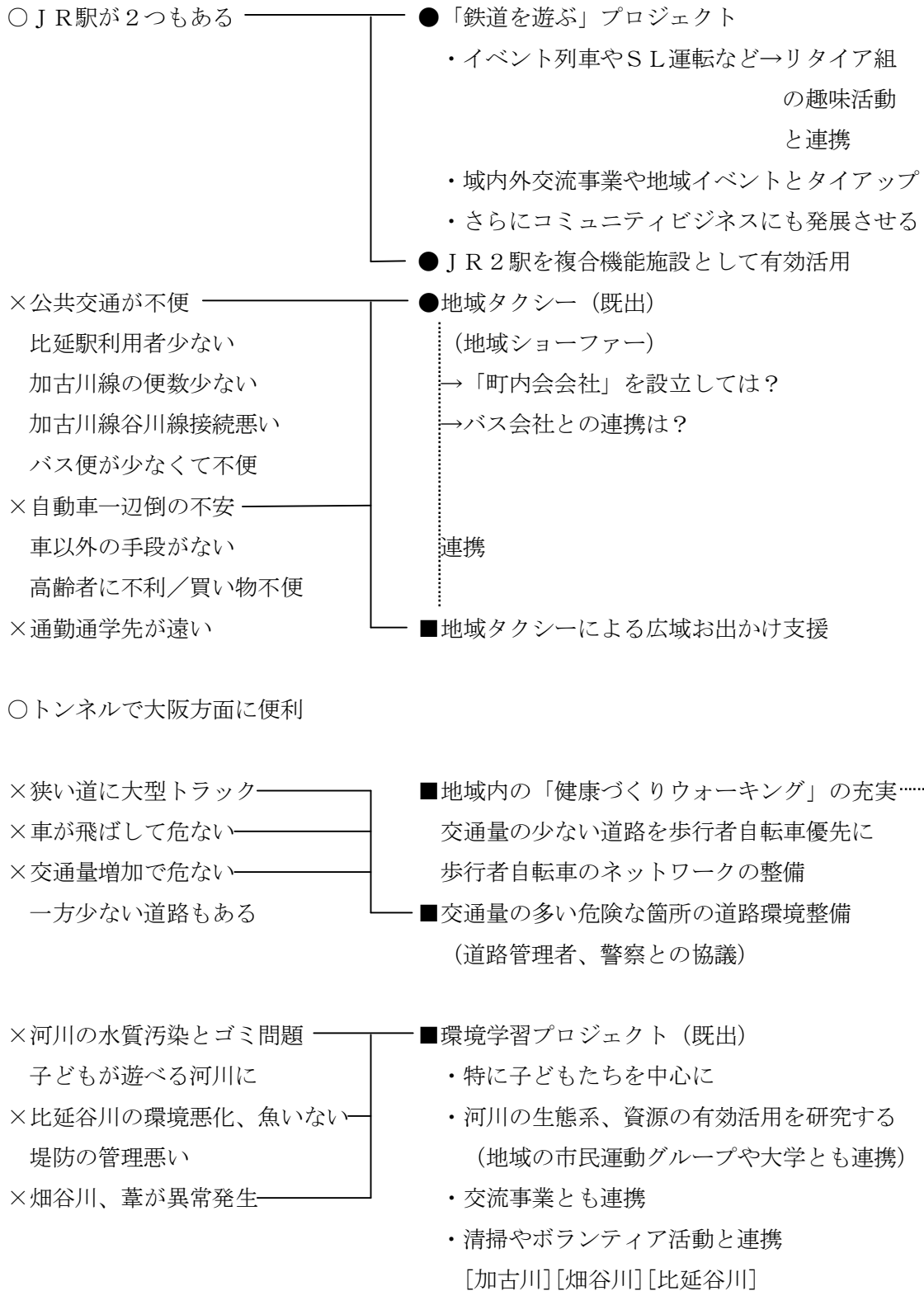
### 3 暮らしと産業の調和するまちづくり

#### 『産業活性化』



## 4 自然にやさしい安全・快適なまちづくり

### 『生活基盤』



×産廃処分場問題———■「地域から廃棄物処分を考える会」のような  
鹿野町産廃中間処理施設など 学習運動から始める  
行政とも密接に連携プレー

○公共施設が多い———■各施設をネットワークで位置づける  
田園空間博物館、健康づくりと連携………  
[郵便局][駅][青年の家]  
[子どもと遊べる公園]など  
・環境学習プロジェクトや  
○治安は比較的良い コミュニティビジネスと連携………

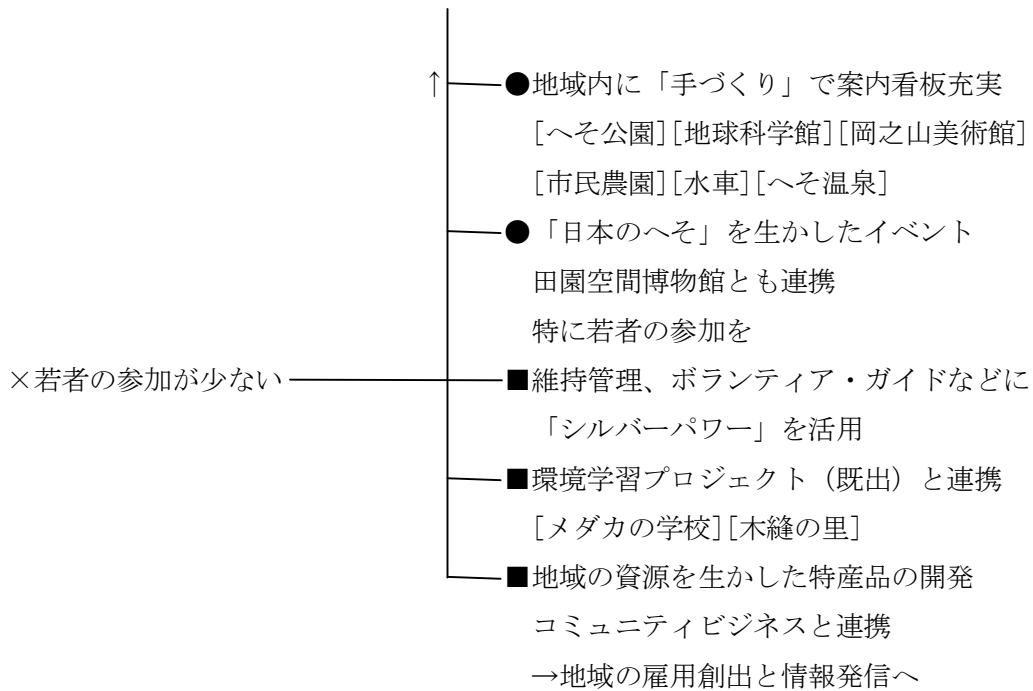
『自然環境』

○ホテルが多い・育成している———■環境学習プロジェクト（既出）  
×田園でタニシなどが減った——— [ホテル][イノシシ][シカ][シラサギ]  
×小川や溝に魚がいなくなった——— [エビ][ドジョウ][モリアオガエル][タヌキ]  
○イノシシ、シカ——— 特に「食べ物」系は多くの人々の共感を呼ぶ  
×野犬 小川の魚復活プロジェクトなど  
×ニワトリを飼いにくくなった

○豊かな自然景観———■田園居住プロジェクト  
四季を楽しめる  
山間部で空気がきれい  
できれば芸術家を戦略的に誘致  
(情報発信源となってもらおう)  
[きれいな空気][おいしい水][食べ物]  
[西光寺][遊歩道]  
交流事業や各種イベントと連携  
田園居住環境整備の一環としての景観整備事業  
(桜と桃の植樹や河川整備、遊歩道整備) ……  
特に↑ 「地域内ネットワーク（既出）」と連携  
地域タクシーのサービスも新規転入者と共有  
・地域景観を生かす開発誘導計画  
(土地利用ゾーニングの検討も)

『観光』

×資源はあるが生かされていない———■各施設ネットワーク（既出）と連携  
手入れが不十分 田園居住プロジェクト（既出）と連携  
交流事業（既出）と連携



## 『最後に』

- 上記プロジェクトの推進母体となるような市民主体の活動団体を育成する。  
既存のまちづくり活性化事業などの施策を一層充実させる。
- まちづくりリーダー育成塾など

■ 早期実施、市民主体で実施すべきという意見が多かったプロジェクト一覧

〈概ね3年以内に7割以上賛同があったもの〉

- ★ 広域お出かけ支援プロジェクト
- ★ 「地域の廃棄物処理を考える会」プロジェクト
- ★ 田園居住プロジェクト
  - ② 桜、桃などの植樹、河川整備等の景観整備を推進する
- ★ 手づくり案内板充実プロジェクト
- ★ まちづくり活性化プロジェクト
- ★ まちづくりリーダー養成プロジェクト
- ★ 環境学習プロジェクト パート1
  - ② 子どもたちを巻き込んだ組織
- ★ 環境学習プロジェクト パート2
  - ② 小川の魚の復活に取り組む

〈概ね3年以内に7割以上賛同があったもの〉

- ★ 城山グラウンド・プロジェクト
- ★ 歴史遺産活性化総合プロジェクト
  - ④ 宮ノ前遺跡の復元・巽々岩伝説のPR、愛宕神社大根祭りの復活
- ★ 歴史遺産活性化総合プロジェクト
  - ③ 古い家屋を利用した郷土資料館の設置
- ★ 街並み復活プロジェクト
- ★ 織物繊維の復元プロジェクト
- ★ コミュニティ・ビジネス・プロジェクト
- ★ 市民農園・オナー制度・プロジェクト
- ★ 環境づくりオーキング・プロジェクト
- ★ 環境学習プロジェクト パート1
  - ③ 交流事業や清掃美化ボランティアとの連携
- ★ 地区内施設ネットワークプロジェクト
  - ① 田園総合案内所や地区内外の施設とネットワークさせ交流人口の増加を図る
  - ② 環境学習やコミュニティビジネスとの連携
- ★ 田園居住プロジェクト
  - ③ 転居者との地域タクサーサービスの共有
- ★ 環境学習プロジェクト パート3
- ★ 市民主体の活動推進プロジェクト

まちづくりの基本目標

# 子午線と自然が織りなす ふるさと★比也野

サブテーマ

- 豊かな自然を守り活かします
- 人と人とのふれあいを大切にします
- 日本の中心（へそ）であることを常に意識し、創意工夫で地区独自のブランドづくりに励みます
- 心安らぐ「ふるさと」としてのまちづくりを目指します

西脇市総合計画施策の大綱	まちづくり計画の方向	まちづくり計画の内容	事業着手時期			事業実施主体		
			概ね3年以内	5～10年	10年以上	市民	行政	協働
<b>支えあふれあいのまちづくり</b> ◎支えあふ地域社会づくり ボランティア、人権・同和問題、男女共同参画、コミュニティ ◎市民福祉の充実 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、ひとり親家庭福祉 ◎健康づくりの推進 保健、医療 ◎年金・保険制度等の充実 医療保険、国民年金、介護保険、低所得者福祉	★子育てネットワークプロジェクト	子どもを気軽に預けることができる組織、場づくり	8	1	0	8	0	2
	★高齢者の集う拠点づくりプロジェクト	ディサービス、ショートステイ等ができる場づくり	6	3	0	3	3	4
	★シルバーパワー発揮プロジェクト	花植え運動など高齢者の活躍の場づくり	8	1	0	9	1	0
	★地域タクシー(地域ショーファー)プロジェクト	地区専属の運転手の設置	3	4	2	4	2	4
	★交流事業プロジェクト	世代間や地区内外との交流及び祭りなどのイベント交流の促進	4	3	2	6	1	3
	★環境学習プロジェクト	子どもを巻き込んだ地区の環境学習の場づくり	6	2	1	6	0	4
<b>こころ豊かな生活・文化のまちづくり</b> ◎生涯学習とまちづくり活動の推進 ◎教育の充実と青少年の健全育成 幼稚園教育、小中学校教育、青少年健全育成、高等学校教育・高等教育機関、人権・同和教育 ◎文化・スポーツの振興 社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション	★双葉小学校プロジェクト	地区の文化人や様々な人材を登用させ、個性豊かな学習機会を提供する	6	2	1	4	2	4
	★城山グラウンド・プロジェクト	高校駅伝合宿のメッカとなっている城山グラウンド周辺をスポーツの場として整備する	3	4	2	0	1	8
	★手づくり図書館プロジェクト	気軽に活用できる地区図書館の設置	2	8	0	6	2	2
	★住吉神社プロジェクト	地区内にある住吉神社の復活・活用とネットワーク	1	6	3	6	0	3
	★歴史遺産活性化総合プロジェクト	①手づくりマップ・史跡看板づくり ②史跡をネットワークさせた歴史街道づくり ③古い家屋を活用した郷土資料館の設置 ④宮ノ前遺跡の復元・妻々岩伝説のPR、愛宕神社大根祭りの復活	4	4	2	5	0	5
			1	3	5	1	2	6
			0	3	7	1	0	8
★街並み復活プロジェクト	城山城にまつわる三之丸の地名や城主の旧家、楽市通り等を活かした街並みづくり	0	2	8	0	0	8	
★美化清掃ボランティア・プロジェクト	シルバーパワーを活用した美しい地区づくり	8	2	0	7	1	2	
<b>暮らしと産業の調和するまちづくり</b> ◎工業の振興 地場産業・中小企業、企業誘致 ◎商業・サービス業の振興 商業・サービス業、観光 ◎農林業の振興 農業、林業 ◎就労環境の整備	★織物織機の復元プロジェクト	郷土資料館等と連携し織機を復元させ観光資源にする	1	5	4	2	1	7
	★市民アトリエ・市民工房プロジェクト	全国的にも希少価値があるのこぎり屋根工場をアトリエ・工房として活用する	2	4	4	1	2	6
	★コミュニティ・ビジネス・プロジェクト	地域資源を活用したコミュニティビジネスの展開	2	4	4	1	1	7
	★市民農園・オーナー制度・プロジェクト	都市と農村の交流をキーワードにオーナー制度等の展開を図る	3	5	2	7	0	3
<b>自然にやさしい安全・快適なまちづくり</b> ◎都市基盤の形成 土地利用、道路・交通、情報・通信、住宅・住環境 ◎生活基盤の充実 上水道、生活排水処理、都市ガス、消防・救急・防災、防犯・交通安全・消費生活 ◎人と地球にやさしい環境の形成 環境保全、環境衛生、公園・緑地環境と景観整備、河川環境の保全と利用	★「鉄道を遊ぶ」プロジェクト	リタイア組の趣味活動とタイアップしてイベント列車やSL列車の運行	1	3	6	0	1	7
	★JR2駅複合施設活用プロジェクト	地区住民の井戸端会議ができる場所の確保	2	5	3	3	4	3
	★広域お出かけ支援プロジェクト	地域タクシーを活用し広域的な移動手段の確保	7	2	1	4	0	6
	★健康づくりウォーキング・プロジェクト	交通量の少ない道路を歩行者自転車優先道路化し、健康プロムナード整備する	3	5	2	2	1	7
	★道路環境整備プロジェクト	交通量の多い危険箇所の改善	6	3	1	4	1	5
	★環境学習プロジェクト パート1	①大学等の民間と協力し河川の生態系や資源の有効活用を研究 ②子どもたちを巻き込んだ組織 ③交流事業や清掃美化ボランティアとの連携	1	6	2	1	3	5
			7	2	1	9	0	0
			4	5	1	9	0	0
	★「地域の廃棄物処分を考える会」プロジェクト	地域課題の解決策を検討する組織づくり	8	1	1	3	1	6
	★地区内施設ネットワーク・プロジェクト	①田舎総合案内所や地区内外の施設とネットワークさせ交流人口の増加を図る ②環境学習やコミュニティビジネスとの連携	2	6	1	2	1	7
			2	6	1	0	1	9
	★環境学習プロジェクト パート2	①「食べ物系」の地域資源を活用し交流人口の増大を図る ②小川の魚の復活に取り組む	3	6	1	6	2	2
			7	3	0	7	0	3
	★田園居住プロジェクト	①地区内に芸術家を戦略的に誘致し、新たな情報発信手法を確立させる ②桜、桃などの植樹、河川整備等の景観整備を推進する ③転居者との地域タクシーサービスの共有 ④地区景観を生かす開発誘導計画	1	6	3	1	1	6
		8	1	1	2	2	6	
		5	4	1	2	0	7	
		4	6	0	1	3	6	
★手づくり案内板充実プロジェクト	へそ公園内の施設案内板を個性のある手づくりで作成する	7	1	2	4	0	5	
★「日本のへそ」を活かそう・プロジェクト	若者の参加により「日本のへそ」アピールする	4	5	1	3	2	5	
★ボランティアガイド・プロジェクト	シルバーパワーを活用したボランティアガイドの設置	4	2	4	4	1	4	
★環境学習プロジェクト パート3	めだかの学校や木織の里など地域資源を学ぶ場づくり	6	2	2	7	0	2	
★地域資源活用特産品開発プロジェクト	地域の雇用創出と情報発信を図る	7	3	0	0	1	9	
<b>市民と協働によるまちづくり</b> ◎市民とともにあゆむ市政 ◎効率的な行政体制の確立 行政運営、財政運営 ◎広域連携による自立的な地域づくり	★市民主体の活動推進プロジェクト	様々なプロジェクトの推進母体となる市民主体の活動団体の育成	6	2	0	1	2	7
	★まちづくり活性化プロジェクト	まちづくりの支援や助成の充実を図る	9	0	0	1	5	4
	★まちづくりリーダー養成プロジェクト	まちづくり推進の核となる人材育成	9	0	0	1	4	4

## 5 比延地区まちづくり計画検討委員会規約

### 比延地区まちづくり計画検討委員会規約

#### (目的)

第1条 西脇市が推進する「参画と協働のまちづくり事業」にかかる比延地区のあり方を考える比延地区まちづくり計画案を作成するため、比延地区まちづくり計画検討委員会（以下「検討委員会」という。）を設置する。

#### (定義)

第2条 この規約でいう比延地区とは、比延町、上比延町、中畑町、住吉町、鹿野町、塚口町、高嶋町及び堀町をいう。

#### (所掌事務)

第3条 検討委員会は、比延地区まちづくり計画案を検討するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 比延地区まちづくり計画案に係る調査及び研究に関すること。
- (2) 比延地区まちづくり計画案の作成に関すること。
- (3) その他第1条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

#### (組織)

第4条 検討委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 比延地区の住民代表
- (2) 比延地区の各種団体代表
- (3) 比延地区担当の市職員
- (4) その他委員長が特に必要と認める者

#### (役員)

第5条 委員会を運営するために、次の役員を置く。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 会計 1名
- (5) 会計監査 2名

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

3 事務局長、会計及び会計監査は、委員長が指名する。

#### (役員の仕事)

第6条 委員長は、検討委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、委員長の職務を代理する。

3 事務局長は、委員会の事務を司る。

4 会計は、委員会の会計を司る。

5 会計監査は、会計事務を監査する。

(任期)

第7条 委員及び役員の任期は、第1条の目的を達成するまでとする。

(会議等)

第8条 検討委員会の会議等は、委員長が召集する。

- 2 委員長が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第9条 検討委員会の事務局は、鹿野町公民館内に置く。

(会計)

第10条 検討委員会の経費は、市補助金及びその他の収入をもって充てる。

- 2 検討委員会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(補則)

第11条 この規約に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は、検討委員会で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成14年11月15日から施行する。

(この規約の失効)

- 2 この規約は、検討委員会の設置の目的が終了した時点をもってその効力を失う。